

vol. 11

南国暮らしの会

特定非営利活動法人

2001年 会報 新年号



平成13年 1月 8日

*表 紙	日本の風景 (富士山)	No.24 酒匂 愛子	
*目 次			1 頁
*理事長挨拶		No. 3. 池田徳三郎	2~4
*フィリピンでの不動産取得について		No.61. 塩見 祥昭	5
*コタ・キナバル (マレーシア・ヒル材島) 訪問		No.94. 高橋 昭	6~9
*夫婦でフィリピンを歩き感じたこと		No.138. 近藤友彦/裕子	10~12
*66歳でスキューバダイビングのライセンスをとる		No.15. 片山 和義	13
* ^{まわいしあ} 馬連西亜旅日記		No.290. 竹中 隆成	14~16
*ペナン島からの便り		No.18. 木村義光/まゆみ	17~19
*フィリピン・セブからの便り (その5)		No.27. 鈴木 博	20
*東京情報交換会及びパソコン教室案内		No.101. 高澤 弘晃	21
*タイ・ツアー案内		No.47. 三井田雅俊	22
*フィリピン・ツアー案内		No.163. 宮崎 哲郎	23
*タイでのビザ取得苦労談		会友 倉田敬吾様	24~26
*南国を楽しむ (ロタ島から)		会友 山本 隆様	27
*香港からの便り (第2報)		会友 栗森徳幸様	28~31
*ゴールドコースト (オーストラリア) からの便り		会友 今井 渡様	32~33
*コスタリカ共和国の紹介		No.163. 宮崎 哲郎	33~34
*マニラからの便り		No.177. 野口 正春	35
*伝言・掲示板			36
*支部・部会伝達板			37~39
*広 告 ([株] 地球生活倶楽部)			40

会員の皆様

特定非営利活動法人 南国暮らしの会
理事長 池田 徳三郎

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。新機軸を起こす科学技術の進展により、より便利な生活を追求し人類の夢を実現する21世紀を迎えるに際し、敬愛なる会員の皆様様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



新年は十二支によると、巳（蛇）年にあたりますが、時代、場所により、「ヘビ」は山の霊、水神、商売の守護神として崇められております。中国の古書「楚辞」に「蛇有り象を呑む。その長さ千尋」と記され、「易」にある「龍蛇の蟹」の意味は英雄傑士も時期を待たため、蛇の冬籠もりのように蟹居して待つことを言います。「新約聖書のマタイ福音書」には、「蛇のように賢く、鳩のように素直であれ」と12使徒に助言しました。これらのことから、蛇はビックで剛毅で賢く商売上手と捉えられているのかも知れません。

日本の60年間を鳥瞰しますと、1941年の巳年は対米英宣戦布告、太平洋戦争の開始。1953年の巳年は吉田首相の「バカヤロウ」解散、中国からの引き揚げ船初の舞鶴入港、水俣病患者発病、十代の性典・続々十代の性典が大ヒット。1965年の巳年は第1次佐藤内閣、3C時代、団地サイズ、ゴーゴーリズムの流行、マジメ人間ベストセラー。1977年の巳年は福田内閣、ロッキード事件、よつしや、よつしや、有珠山噴火、話がピーマン、知的生活。1989年の巳年は昭和天皇崩御、天安門事件、総評解散、ベルリンの壁崩壊、セクハラ、3K、コードレス電話のはしりの年であります。

新世紀の始め2001年の巳年は、森内閣の政権下、政治、経済、社会、医療、福祉等どんな年になるのでしょうか。そして、南国暮らしの会はどのような飛躍の年になるのでしょうか。！！！！

会員の皆様のお力添えにより、お陰を持ちまして理事長に就任して、2度目の新年を迎えることが出来ました。これもひとえに多くの会員、役員、各支部長、顧問のご協力、ご支援の賜と心から厚く感謝致しております。この間、勤勉・有能な仲間が増加していることは喜ばしい限りでありまして、新会日からもホットな情報を頂くことが出来ました。今後とも当会の趣旨をご理解頂きながら、会員の増大を目指し、フレッシュな情報の収集と公開を続ける楽しい相互親睦の会でありたいと望んでおります。

1. マレーシア・ツアーについて

旧年を顧みますと、6月は会員のご希望もあり、マレーシア・ツアーを調査担当を軸に計画して頂き、ペナン並びにクアラ・ Lumpur の日本人会との交流がフォーマルに実現できました。その結果、当地の正確な情報がより早く入手出来、ガイド・ロングステイ等も可能になり（情報拠点の新設）、さらに現地の会員その他関係者、会報担当のご努力により、マレーシアに関する情報が会報にフィリピンと併せ多く取り上げられました。他方、現地クアラ・ Lumpur 日本人会から会報の送付を、マレーシア政府観光局から会員の数の「マレーシアトラベルガイド」を、またペナンから「ペナン生活ガイド」その他の資料をそれぞれ頂戴することが出来、後者の一部は会合の際、会員にお届けしたところであります。関係会員のご協力により、このように会の交流の輪が重層的に膨らむことができました。

2. シンボルマークの決定について

会の呼びかけに、ご応募して下さいました中から前号会報に掲載された通り、英文表示、ロゴマークを決定いたしました。会員から愛され親しまれる会のシンボルマークになるものと期待いたしております。

3. 会報について

会報は会の顔であり、会員の為の最重要な情報誌であります。会といたしましても僅かな予算の多くを印刷費・通信費等に充当しておることは周知の通りであります。アンケートによりますと89%のご支持をえております。これも会員のご協力によることは言うまでもありませんが、担当者の真摯なご努力ご苦労のお陰でもあります。さらに、よりよい会報にするため皆様の積極的なご投稿と一層の暖かいご支援をお願いします。

4. 会員の声を大切に

総会員のアンケートによるご意見の結果は、会の今後の運営に大変重要な役割を果たす資料〔10月発行の会報（V o 1. 10）参照〕であります。このアンケートの貴重な成果を最大の指標として、今後（少なくとも6月の総会まで）における基本的運営のバックボーンにしたいと存じます。改めて会員の誠意あるご回答並びに作成を担当した係りの素晴らしい熱意に対し御礼申し上げます。

（1）タイ・ツアーの希望者がフィリピン、マレーシアについて第3位にあることから、新年は6月にタイ・ツアーを計画し、特にタイとの交流を語りたいと協議しております。併せ再度のフィリピン体験ツアーも計画しているところであります。

会に期待されておられる項目のトップはロングステイ情報であり、会に対するご希望の第1. は在留邦人の情報説明会、第2. は在留日本人との交流、ロングステイの地を訪ねることでもありますから、今後体験ツアーは必要な催しであります。計画段階において是非皆様の建設的なご意見・ご希望をお待ちいたしております。また各地の多くのロングステイ情報をお寄せ下さるようお願いいたします。

（2）新しいIT時代を迎え、多くの会員がEメールを利用しておられ、会報にアドレスを掲載しております。会員相互の交流がより盛んになることを期待して、旧年11月に、担当理事等がパソコン教室を開催し、大変好評を得、引き続き開催を予定しております。Eメール、F a x, 電話、携帯電話通信等により、南の会の会員であれば、ロングステイ・医療情報等を介し、内外の節度ある会員間相互の交流の輪が広がることを期待しております。

（3）在留邦人の情報説明会は会員の強いご要請から、出来れば、毎月又は隔月1回（例えば第3日曜日13時～）予め日時を決め、東京または大阪で開催したいと考えております。1月は14日に大阪で、27日は東京で開催します。それ以降も会員相互の親睦を兼ねて計画中でありますが、ただ、在留邦人の帰国の日程その他から出席出来ないことが予測され、満足頂ける会合になるのかは心配であります。当初は単に会員相互の情報交換会になることも、あり得ますことを危惧し、予めお詫びいたしておきます。

5. 不動産等の取得・借用等について

標記のことについては、すでに旧年1月の会報（V o 1. 7 参照）に「不動産等の取得・借用等に関する法人の基本方針」（平成11年11月12日 理事会決定事項）を掲示し、会員の皆様に周知したところであります。同基本方針に付記してあります理由も併せ、すでにご判読頂いたことと拝察しま

すが、何卒理事会の意のあるところをお汲みとり下さいますよう、再度お願いし、改めて蛇足を追記します。

外国における不動産の取得（日本でも悪徳不動産業者は多いのですから）に際しては（1）現地調査、（2）現地不動産関係法令に基づく当該物件書類の専門的確認、（3）売り手依頼のプロではなく、取得者依頼の信頼出来る現地専門家（弁護士、不動産鑑定士その他）の意見、判断、評価等は、最低欠くことの出来ない3要件であります。治安・医療・金銭の受け渡し等も大切ですが、ここでは省略いたします。（三井田副理事長・原理事の調査、研究成果報告掲載 参照）。

特に、周囲の住民の生活環境、インフラ整備状況（水、電気、ガス、排水、道路、害虫対策、水害・地震対策、公害対策等々）如何では、遠くからまたは廣地域にわたり、諸対策を新たに自己資金で実施する必要もありますが、その為に政府・関係機関の許認可と新たな費用を要することになり、予想外の膨大な時間と費用がかかることもあります。

バブル崩壊前の日本人・日本企業の多くが、海外で不動産取得に関し悲惨な体験をした事例を是非とも想起して、各自の大切な財産の損失防止に努めて頂きたいと存じます。

当NPO法人は、収益事業を行うことが出来ませんし、前記（1）～（3）その他の現地調査等をする高額の資金もありませんので、「不動産等の推挙・推薦等は一切しない」ことにしております。さらに、大切な現地調査等ができない当NPO法人では、不動産等取得者の自己責任の原則、土地建物契約等に関し当法人不関与の原則、当法人無責任の原則等に関する6つの原則を決定し、前記の会報に掲載し、すでに皆様にお知らせしてあります。再度お目通しのうえ、何卒宜しくご理解を賜りたいと希求して止みません。

6. 魅力ある会にするために

新年最大の継続課題の1つは、資金のない会で「如何にして魅力ある会を構築していくか？」であります。

アンケートからは、ロングステイの拠点をフィリピン・マレーシア・タイその他ご希望の地に置くことで、会員がいつでも好きな期間に現地体験が出来る会にすることでしょう。

このご要請に対し、段階的に対処してきたところであります（例えばロングステイの情報拠点としてのマニラ、セブ、ダバオ、そしてペナン、クアラ・ルンプール等）が、会員のご要請を十分に満たす段階ではありません。特に現時点では、ロングステイの施設を法人として所有・借用することは、定款・財源その他多くの調査課題があり、これらの課題をクリアーするには、時を要しますが、ねばり強く理事会等で調査・検討します。

また、満足できる情報説明会の開催も、幾つかの課題（会場・講師・連絡方法・予算等）を一步一步、クリアーしていく予定であります。

さらに、Eメール以外にも、直接顔と顔を接しながら、南の暮らしを語り合う場所を予め日時を定め設定し、「その日は、会員相互の交流・親睦の場（サロン形式の場）とする」案も実際に試み、実現出来るよう計画中であります。設定の暁には、気楽に集まり、南の会の会員が相互に情報を交換出来る場で、会の打ち合わせ・建設的でフリーな発想の話し合い・趣味を同じくする会合等が可能になればと願って、情報交換・相互親睦の輪がより広がるよう皆様と共に試行していきましょう。

資金なくして、少しでも、一歩でも「魅力ある会」にするための手法（当面の最大課題の1つ）について、会員がお持ちのアイデア、ご提案を大いに期待しております。

終わりに際し、会員の皆様いやすかの弥栄のご健勝とそれぞれのご発展ご多幸を心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

フィリピンでの不動産取得について

2000. 12. 1

マニラ在住 会員No.61 塩見 祥昭

“基本的に、フィリピンでは外国人による不動産取得は認められていません。”

外国人が買える物件はコンドミニウム（マンション）及びタウンハウス（アパート）です。

一戸建ての場合は土地はリース契約という方法になります。家屋は自分名義になります。

どうしても不動産を取得したい場合は、現地法人として取得する方法があります。他にはフィリピン人個人の名義を借りる方法があります。が、後でトラブルの原因になる事が多いです。

◇注意点

フィリピンではバブル崩壊後、未開発素地の土地の先行投資は殆どしておりません。この場合取得する場所及び環境によつては、90%以上の確率でお金は戻らないと思った方がよいでしょう。

一戸建ての場合は、フィリピンの大手建設会社の開発した、完成見込みの確実な分譲住宅地に建てられた分譲住宅を購入するのが一番安全です。

それは開発に関する行政府の認可条件を全て解決している事、インフラ及び周辺地区の環境整備がなされているからです。

住宅を買うのは簡単です。が、購入するときは売却するときの事を考え売り易い所を検討、選定する必要があります。でないと現状のフィリピンではなかなか売ることが難しいです。売ると思えば数年位掛かると思われます。急いで売の場合、買値の半分以下に値切られるでしょう。

家を買う場合先ずタイトル（権利書）の確認が非常に大事です。偽者のタイトルが時々あります。調査方法は先ず売主（オーナ）からタイトルのコピーをもらい、県庁（日本の法務局の用な所）に行き原本とコピーを見て同じであれば、次に買う土地のある市町村の土地納税課に出向き、税金支払い書とタイトルの名義人が同じなら間違いありません。

◇家、土地の価格等について

日本人が快適に住める家の建造費は30坪（99㎡）450～500万円ぐらいで建てられます。土地価格は私の住んでるマニラ市内で1坪（3.3㎡）約4万円（18,000ペソ）です。

その場所によって価格差があります。但し、これは自分で建てる原価です。

◇私の考え

1、「南の会」会員の方々が不用意に調査もせず、家を買うと云う事はお勧め出来ません。

数年位住むつもりなら、マンションや、借家の方がコストの面でも安くつきます。又契約解除も何時でも簡単にできます。10年以上住む場合は家を買った方が安くつきます。いずれにしても将来性のある場所を選ぶ事が賢明です。

どうしても家を買いたい方は半年から一年掛けてアパート等で暮らし、自分自身住める確信が出来るから家を探しても遅くはありません。

2、購入資金があるならば、その間にフィリピンの銀行に預けておけば、年利約8～10%が付きます。複利にすれば1,000万円預けて2年で1,200万円～1,250万円位になります。利息を毎月受け取ることも出来ます。アパートの家賃以上の利息を受け取ることが出来ます。

*もし家の事や調査の仕方など詳しく知りたい方はE-Mail等でお答えします。

*法律の事などは、私の顧問弁護士に相談してお答えします。

では皆さんお元気で。

コタ・キナバル訪問

平成12年12月

(マレーシア・ボルネオ島)

岐阜県在住 会員番号94 高橋 昭

本来は、会のマレーシア訪問ツアーに参加出来なかったコースを辿ってみたいと考えていましたが、ホームページ上で見つけたコタキナバルに心を揺さぶられ、急遽出掛けてきましたのでご報告します。

この旅行に就いては、コタキナバル在住の長谷川由紀夫氏にホテルの手配を依頼しましたので大変格安に滞在することが出来ました。

10月22日11時名古屋発マレーシア航空でクアラ・ Lumpurへ、3時間の待ち時間を経てコタキナバルについたのは夜の11時を少し回った頃でした。

エキゾチックボルネオという現地ツアーのガイドが、名前を書いたプレートをもって迎えてくれました。このツアー会社は純粋に現地企業で、日本の業者を介していないので全てが大変格安でした。

案内されたホテルは、地球の歩き方というガイド誌にも高級ホテルとして紹介されています。バイキング方式の朝食付きが家内と二人で4千円ちょっと、ホテルの名はプロムナード、勿論プールやアスレチック・ジムにジャグジー、ひと通りは揃っています。

隣接してマリナコート・コンドミニウムがあり110㎡3LDKで一日5,000円弱、一ヶ月9万円との事です、こちらジャグジー以外は揃って、更に卓球等の室内スポーツが出来るようです。どちらも海に面して南シナ海の夕日を眺めることが出来ます。このコンドミニウムは7~8百万円(海側と山側で多少異なる)で購入も出来るとのことです。更に2期、3期工事が進行中でした。

道を隔ててすぐ裏手には、アピアピ・センターという一階は商店、二階以上はホテルやアパートになっている大規模な一角があります。このプロムナード・アパートはツインベットルームで一泊約千五百円、一ヶ月のレンタルは4万円、小さいながらもキッチンが付いているので自炊も可能ということ、地下は全て駐車場、商店の前の通路は建物の一部で、南国の強い太陽をさえぎって快適に買い物出来るよう工夫されていました。

この他に市中心部の外れで、空港から30分のところにリカス・スクエアーがあります。一階はショッピングセンターになつていて日本食材が豊富に揃っているとのこと、自炊の出来るマンション形式で2DK、建坪は不明、一泊が約4,500円、一ヶ月7万円と言うところです。

参考までに、空港から西に約20kmのところのビーチに面したリゾート・アパートメントが建築中です。ゴルフ場も隣接しているとのことですが詳細は不明です。これが建坪約101.8㎡で約650万円、また市の中心から車で10分のところの建坪214.9㎡、庭付き一戸建てで約750万円だそうです。こちらにも近くにゴルフ場があるそうです。

マリナコートから歩いて10分程のところ市場があり、野菜も果物も大変豊富に揃っていました。

車で1時間、キナバル山のふもとの高原地帯で野菜等、栽培しているので日本にある殆どの種類が揃っていました。ただどれも小ぶりなのは肥料も農薬も使わず、美味しくて安ければよいという思想のよう



タンジュンアルビーチ



タンジュンアルビーチにて家内のポーズ

です。

魚市場には熱帯らしくカラフルな魚が多いのですが、鰹や鯖も陸揚げされていました。海老、蟹、烏賊、それに貝類など信じられないような値段で並んでいました。

食事は殆ど屋台で済ませましたが、生簀の中から魚や海老を自由に選んで料理してもらるのが最高でした。私は伊勢海老と巨大蛤、それにキナバル野菜の中華風炒め物が最高でした。ライスとビール込みで千円で釣りがどっさり来る信じられない値段でした。

デパートでは日本で未公開の映画のDVDビデオディスクを購入しましたが安いもので300円、高いものでも1,000円以下でした。海賊版?かな。

電気製品や自動車などは全てに輸送費がかかるのでクアラ・ルンプールに比べ少し高いとの事でした。私はゴルフをしませんビーチ・リゾートに隣接したところは、やはり割り高との事でした。

キナバル山の麓の高原地帯、クダサンにクダサン・ゴルフクラブがあります。標高が2,000mを超えているので日中でも春の気候、夜は寒いくらいだそうです。

海岸は南シナ海やスルー海に面しているの、透明度が高くシュノーケリングやダイビングには最適と思われます。

医療面では、一時家内が脱水症から体調を崩したとき、医師の診断と薬、合わせて30リンギット、日本の初診料より安かったのには驚きました。その後快適に旅を続けられたのですから。

この町の特筆すべきは、地方の州都とは言え、主要道の信号機がほぼ完全に設置されている事です。更に違反車両を追い掛ける白バイも時折見掛けましたし、日本では殆ど守らないのが当たり前になっている運転中の携帯電話使用も決して見逃してくれないとの事なので、治安に対する当局の姿勢も好感が持てました。ただ州の自治権が確立しているので、このサバ州の治安が他に比べて格段に良いのかもしれない。

このあたりの庶民の平均的な賃金が4~5万円といいますがフィリピンと比べますと、やはり賃金ベースは高いですね、でも産油国であること、国産車を持っていることを考えると、ドライバーの雇用をあわせたセットで考える限りそれほど差は無いと思います。

マレーシアでは、「日本に学ぶ」の号令で現地在住日本人の意見を大幅に取り入れ、公共のトイレ、歩道、公園や遊歩道にも力を入れ、日本や先進国の旅行者、退職者に適した町作りに精力的に取り組んでいるようです。

また私の行動した範囲では一本の電柱も全く見ることはありませんでした。更に屋台や魚市場にも蚊や蠅を見なかったことも驚きでした。ただ横断歩道や一般歩道については車社会を目指しているのか、はたまた予算の都合か、まだまだ未整備の感がありました。

カラムンシン・コンプレックスというデパートの三階にJCTICというボランティア施設があって、日本人旅行者の為のサロンと、マレーシアの人たちへ日本の文化を紹介する施設がありました。私が行った時は、ちょうど日本人ボランティアの女性が日本語を教えていました。

この施設はサバ州の支援を受けて無料で提供され、運営は全てボランティアとの事、日本からの支援も待っていました。

この施設を立ち上げた長谷川由紀夫氏は、他にもランカウイのリゾート開発やクアラ・ルンプール新空港から海側に20kmほどの土地に定年退職者用住宅、リゾートライフ用住宅、ロングステイ、会社・団体保養施設、老人ホーム、ホテル等の施設を含めたレジデンシャル・リゾート開発を、マレーシア政府と共に推進中で、日本から医師、看護専門家、ジ



ワールドステイヤーズのボランティア
(後ろの二人)と私ども夫婦

ジャーナリスト、ホテル、コンピューター、福祉、農業、造園、宣伝等の関係、更に調理士、理・美容師などの経験または知識を有するボランティアの協力を求めるとの事でした。勿論多少の優遇処置や特典が付与されるそうです。

マレーシア政府は日本の50代60代70代といったシルバー世代または予備軍の世代こそ驚異的な経済発展の担い手であり、その有り余る能力をマレーシア発展に寄与して欲しいとの考えから隣接して総合大学を建設するとのことです。当然施設内は光ファイバーで接続され、大学と密接な情報交換が可能となります。

上記レジデンシャル・リゾート開発地は、クアラ・ランプール新空港から海側に20kmほどのところで全体が800万坪あり、そのうちの14万坪が外国人用の住宅地になり、隣接してゴルフ場、大学、果樹園、現地の人の為の住宅団地が建設の予定です。

尚、現地の人の為の住宅は既に一部が売り出され、すぐに完売したそうです。

これらの施設の一期工程は2年後に完成予定とのことです。

この住宅を売却して日本に引き上げる場合、最低でも50パーセントの価格を保証すると言うことも、日本のシルバー層への期待と共に、彼らの目標達成への自信の表われでもあると思うのですが、買いかぶりでしょうか。ただこれらの施設が完成するのは、団塊の世代が定年を迎える10年前後先あたりをターゲットにしているようです。

日本ではシルバー層をどんどん切り捨てているようですが、マレーシアでは日本の真の経済発展が誰によってもたらされたかを見抜いて、貪欲に其のノウハウを吸収しようとしているようですね。

私共の目にはこの地は大変魅力的な場所に思えました。皆さんも自分の目で確かめてみて下さい。



公園からアピアセンターを望む

☆高橋様と酒匂のQ & A

今回の紀行文を拝読して素晴らしい処のようですね。私も行ってみたいくなりました。そこで2、3質問に回答して下さい。宜しくお願い致します。

Q1. 会員がこの場所に行く場合、長谷川様は快く対応してくれそうですか。

A1. とても親切、且つ意欲的な青年という感じですが、非常に多忙で連絡が大変だと思います。

Q2. 長谷川様はホームページを開示されているのであれば、会員の方誰でも連絡をとれそうですね。

A2. ホームページのURLは <http://www2.ttcn.ne.jp/~haseyuki/> です、しかしこのHPの管理は日本在住のお父さんですので、直接連絡する場合は tgif101@hotmail.com がコタキナバルに接続されます。

Q3. ホテルの手配についてはどうすれば良いでしょう。

A3. 現地ツアー会社（エキゾチック・ボルネオ）に直接依頼すれば空港の送迎もしてくれますし非常に安い（タクシーよりも）と思います。

オフィスは； FAX：（6088）429024 TEL：（088）429224又は（088）429041で、日本語OKです。

また英文なら JCTIC の長谷川氏宛で FAX：（6088）428540

又はEメール：jctic@yesibelieve.com（英文、ローマ字対応）が良いと思います。

Q4. 高橋様は今回行かれて、個人的にはどのように感じられたのでしょうか。

A4. フィリピンマーケット（マレー人はこのフィリピン人を難民と言っています。）以外の治安が非常に良いのと（客引きがすごい）ドライバーのマナーも良かったと思います。

また私の個人的な感想ですが、車がないと大変不便と感じました。ロングステイであればタクシーの使用は絶対です。マイクロバスはひっきりなしに動いていますが、行き先の種類が多すぎて長谷川氏でも乗れないとの事、手を上げれば何処でも止まってくれるのですが、何処へ行ってしまおうのか見当が付きません。

でも長距離バスは安心出来ると思います。日本の場合全国一律に開発（道路、鉄道）しますが、ここでは工業地帯、都市部を優先に開発し経済力を付けてから地方を開発するので、幹線道路と都市部の近代化は随分進んでいるのではないのでしょうか。

Q5. また行ってみたいとか、住んでみたいとか？。

A5. 是非もう一度と言わず、二度三度と出掛けたいと思っています。特にキナバル山の麓の高原地帯には行ってみたいと思っています。どなたか行かれる方があれば是非同行させて下さい。

今回は当初1ヶ月位滞在したいと思っていたのですが、家内が突然同行すると言い出しましたので8日間になってしまいました。

Q6. 現地ガイド

A6. 現地ツアー会社にツアーを依頼する場合、例えば日本語ガイドの場合200リングッド、英語ガイドの場合140リングッドくらいと、違いがあります。

Q7. 奥様の感想は？

A7. 家内は原則的に海外生活にアレルギーがありますので何かと難癖を付けます。今回の場合匂いが気に入らないと言っていました。ですから街中に居を構えるのは困難でしょう。やはりリゾート地又はコンドミニウムでないとうOKが出そうにありません。

Q8. 頂いた写真では緑が少ないようですが、開発途中だからですか。

A8. 緑の件ですが、私の宿泊したホテル及びアピアピセンター、マリナコート・リゾートなどのコンドミニウムは、最近海を埋め立てて造成された地区なので植生が未成熟、また海側に公園を工事中なので完成すれば緑豊かな夕日を眺めながら散策出来る地域になるでしょう。（現在は工事中なので少し殺風景）それは少し郊外に出ると鬱蒼とした熱帯雨林が広がっています。また以前からあるリゾート地には多くの花木が美を競っています。

Q9. コタ・キナバルへの空の便について

A9. 成田発着の方には直行便はありますので魅力的な処ですが、名古屋、関空利用者にはK・L乗り継ぎですので誠に不便なところで、現状では魅力半減というところです。
ただ自然志向の者にとっては捨てがたい魅力があります。

※それからコタ・キナバルのコンドミニウムの詳細はホームページが見つかりました。

<http://www.tokojaya.com.my/>です。これも参考にして下さい。

※レジデンシャル・リゾート開発地などの情報を開示しましたが、これはあくまで情報として読んで下さい。興味のある方は、自己責任で直接長谷川氏のホームページにアクセスするか、メールで連絡して下さい。私は紹介や、斡旋の意図はありませんので宜しくお願い致します。

以上よろしく

高橋 昭

Eメール: akira56@ylw.mmtr.or.jp HP: <http://www.ylw.mmtr.or.jp/~akira56/>

南国にエデンの園を求めて

夫婦でフィリピンを歩き感じたこと

平成12年12月

会員No.138 名古屋市在住

近藤友彦・裕子

いつも会報を楽しく読ませて頂いております。名古屋在住で東京の会にはお邪魔した事がないのですが、これからも皆様がお元気で楽しい旅を続けられ、新しい出会いが出来る事を祈っております。

何度か単独でフィリピンやマレーシア、中国などに行きその旅に感動して帰ってくるのですが、その時の記憶について忘れないよう少し書いてみました。

よろしかったら、お読み下さい。

名古屋在住の会員夫婦です。「フィリピンにも軽井沢みたいに涼しい所があるよ」と、バギオのことを友人に教えられ、久しぶりにフィリピンに出掛けたのが5、6年前のことでした。「こんな所で、毎日ゴルフをしていたら糖尿病なんか治っちゃうだろうな」と、すっかりバギオを気に入った主人。マニラの日本料理屋でリタイアメントビザの事を知り、PRAのマカティの事務所でパンフレットを貰ってきました。

主人は糖尿病を患い軽い合併症も出ている身のため、冬も暖かく適度な散歩など運動しやすい南国（ゴルフが安く出来る国）で暮らせたらいいのにと、密かに思っていました。名古屋の夏は、やたらに暑く湿気も多くてフィリピンより暑い時もあります。先立つものに乏しい私たちは物価の高い日本を飛び出して、何とか生活していけるかどうか何度かフィリピンに足を伸ばしています。そんな私たちの見たフィリピンの事を少しお話しします。

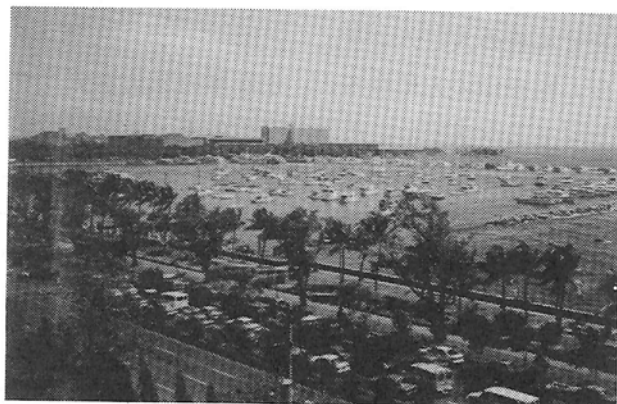
1、マニラ

はじめてマニラに旅行したのは、25年ほど前のマルコス時代、1ペソ=7円の頃です。当時の町の熱気と今日のマカティなどの近代的発展とは、妙にかけ離れたような感じであり、子供が裸足でタバコやガムをバラ売りしているような庶民の暮らしの部分では、何も変わっていないような不思議な町です。

もしマニラで時間があれば、フォルベスパークの豪邸界隈を覗いて見て下さい。「ここがフィリピンか？」とは思いがたい光景が見られます。ルスタンズやランドマークのスーパーで、日用品や食料品の値段をチェックをしてみるのも一考です。素晴らしい品揃えと凄いい人ですが、現地の人はずっと涼みに来ているらしいです。お金さえ出せば、何でも手に入るらしいです。私たちはスーパーでサンミゲルを買ってホテルの冷蔵庫に補充するなんてせこい事をしています。アハハハ・・・

短期滞在ならマカティの高級ホテルの方が、南国ムードいっぱいのゴージャスさが満喫出来ると思います。ロハス通り、エルミタあたりは昔の歓楽街で、もう今はさびれた感じで安宿もいっぱいありますが、（1泊1,500p位のキッチン付など）とても住みたいと思う所ではありません。マビニ通りのセブンイレブンの前の両替屋さんは、いつも人でごった返し、日本円の札束を持ったお嬢さん達がいっぱい来ます。レートはいいと思います。

マニラで、手軽にリゾート気分を味わうのなら、イントラムロスのショートコースのゴルフも是非どうぞ。公道を3回も横切る大胆なコースです。日中は暑いので、夕暮れ時（夕日がとっても綺麗です）が、お勧めです。



アドミラルHよりマニラ湾を望む

2、プエルト・アズール

平成8年の夏にはじめて行った時、あまりの広さに「こんな所にホテルがあるの」と、ゲートで不安になりました。車で10分程かかってやっとコテージ風のホテルに到着です。ゴルフをしながらココナツを割って飲ませて貰ったり（子供のチップ稼ぎの仕事）キャデーがキノコ採りをしたり（晩御飯のおかずらしい）と、海越えの素晴らしいコースとともに最高でした。

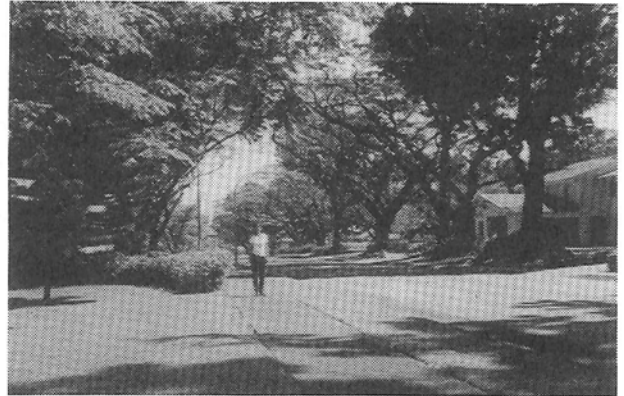
2度目の訪問でタケウチハウスにお世話になり、ゴルフが出来感謝でした。

ただ、現在はホテルが閉鎖中で、広大な敷地に人が少ないのは寂しい限りです。マニラ近郊のリゾート地は数年前に比べて、さびれています。

プエルト・アズールから車で15分程のカイラブネ（イメルダ夫人のプライベートビーチ）も、ゲートを入るだけで馬鹿高くびっくり。竹内さんのお宅のあるミラヒルズは、海あり森ありの素晴らしい景色で羨ましい限りです。が、とても手に入るようなものではありません。（500坪、数千万円）

3、スービック基地、クラーク基地

今までの紹介の通りで、どちらも「THIS IS AMERIKCA」という感じで、申し分のない施設が整い治安も抜群です。ただ、余りにも囲われた生活のようで、フィリピンのディープな感じが希薄で、ちょっとつまらないと言うのが正直な感想です。ホテルやゴルフ場も素晴らしいですが、それなりに費用が掛かるので、その点も覚悟がいると思います。日本の業者がいろいろ住宅の開発をしているようですが、直接現地の会社に聞いてみる必要もあるでしょう。



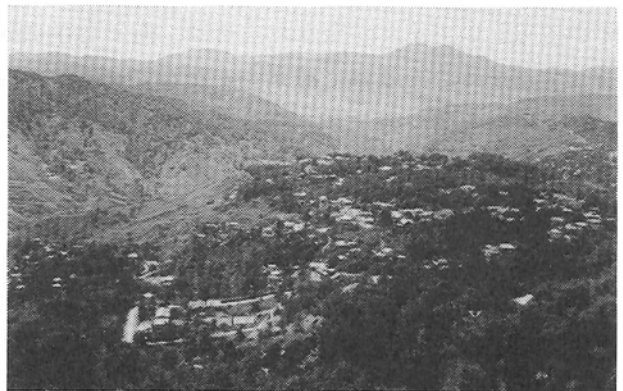
クラークフィールドの中のビラ前にて

4、バギオ

避暑地として有名なバギオは、フィリピンで最も美しい町の一つと言われ、マニラ政府も夏の間だけ移動して来るそうです。現地のお金持ちの憧れの土地です。標高1,500 mの山岳地帯で道路事情も悪いので、パサイのビクトリーライナーのバスで、6～7時間かかります。（1人244pでした）飛行機はフライトの時刻や便の変更がよくあるので、天候や日程をよく吟味して現地で手配した方がいいと思います。ただしマニラのドメスティックのチケット売場はすごい人です。

バギオは、軽井沢のような緑の多いしっとりとした場所です。大学や病院も多く、町の中心バーンハム公園近くのメイン通りは、学生や若者でマニラに負けぬ程の人ごみです。

少し町を山の方に登ると、山荘風のプチホテルやロジもありますし、長期滞在用のキッチン付ホテルもあります。以前は水事情が悪かったのがバギオの欠点でしたが、ずいぶん良くなりました。ホテルを決める時は部屋を見せて貰い、シャワーの水加減と温水のチェックを必ずし、値段の交渉をして決めています。この頃はプリンスプラザに良く泊まっています。（1泊1,350ペソ朝食付）



バギオの山並み

長く泊まっているとホテルの従業員が親切にしてくれますし、いろいろな情報が得られるのもメリットです。英語は片言の私たちですが何とかできます。

ここ数年改装中だったキャンプジョンヘイも素敵な所です。はじめてバギオに行った時この中のコテージに泊まりゴルフをしました。まるで日本の高原地のように、朝靄の中に真白なコテージが、緑の木々の中にぼんやり霞んで見えて幻想的です。朝晩は寒いぐらいで、あまりの爽やかさに「帰りたくない

なっ」とつくづく思いました。改装後料金が恐ろしく高くなったようで、ゴルフも会員制だときき、その辺の情報を確認中です。

日本のガイドブックにはバギオはあまり載っていませんが、日本の高原野菜が豊富でレタス、キャベツ、トマト、オクラ等どれも新鮮で、日本人が普通に日本食を作ろうと思うには、食材に困らないと思います。糖尿病にはもってこいです。シティマーケットも凄い活気ですから覗いてみて下さい。常春の地で平均気温20℃ほどの気候は、暑さの嫌いな主人と寒さのダメな私たちには丁度いい所です。

バギオで、売り物件や賃貸物件の部屋やコンドミニウムを見せて貰いました。価格はピンキリだと思います。1,000万円~1,500万円位で、日本より随分広いコンドミニウムが買えます。が、フィリピンのこの場所でそれが高いと思うか安いと思うかは何とも言えません。気の向くまま部屋を借りて暮らし、英語を勉強して生活になじむ事の方が賢明のように思うのですが、どうでしょうか。

他のフィリピンの観光地と違って、別荘感覚でゆったり過ごすという環境なので、地元の人と仲良くなるチャンスも多いと思います。レストランも多いので外食に出かけたり、夜は生バンドのショットバーで夜遊びするのも面白いです。なんと言っても日常の食べ物やビールが、驚くほど安いのはいいです。

フィリピンではジョリピーというファーストフードの店が、大人気でいつ行ってもお客でいっぱいです。バギオにもあります。現地の知人に聞くと、このフランチャイズの店をはじめるのに数千万円のお金が必要と言うので、「本当？」と驚いてしまいました。

バギオからハンドレッドアイランドの海辺にも近いそうですし、金鉱の跡や温泉もあるという事です。まだ現地調査が少ないので何度か出掛けてうろついてみたいと思います。出来ればマニラからもう少し近いといいなっと思いますし、地震があるのでちょっと心配です。(10年前大地震があったそうです)

5、セブ

海しかなくてつままないだろうと、あまり期待せずに行きました。ところが海の美しさとのどかでフレンドリーな地元の人々の人間性に、考えが変わりました。地元で探したモンテペローホテルも、スペインの邸宅風で居心地良く、隣にはショッピングセンターもあり便利な所でした。(1泊1,700p朝食付)こじんまりした島で地理が良く分ければ、自分で動きやすい所です。タクシーがきちんとしたメーター制なのも安心です。マクタン島の高級リゾートホテルは、高いので長くはいらませんが、お茶を飲んだり、ランチを食べに行くのもいいです。

長くセブにいと、(8泊してその後香港で5泊)ペソの生活に慣れてしまい、日本円で1,000円もすると、おそろしく高いような気がしてすごく気分が暗くなってしまいました。香港の物価高にはビックリしました。

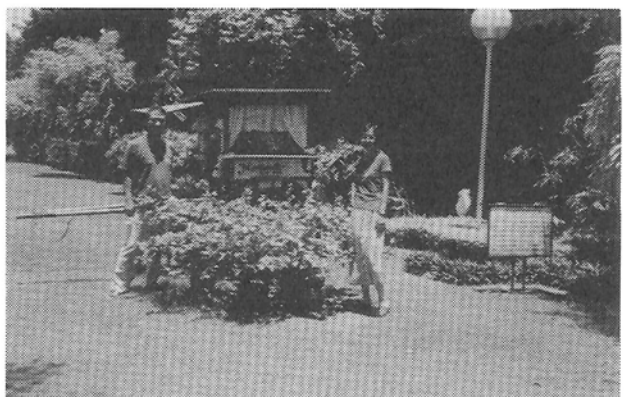
とりとめのない話になってしまいましたが、まあ何処もそれぞれ良い所があり、ご自分の目で確かめてみて下さい。私共も、まだ勇気がなく日本でぐずぐずしています。夢で終わらず、行って暮らしてみたいと思っているのですが。。。。。

“自分の住む所は自分の目で確かめて納得の上”

では皆さんお元気で。



バギオの山頂(マインズパーク)な幻想的景色



セブ・モンテペロー-Hの裏庭でショット

66才にてスキューバダイビングのライセンスをとる

平成12年12月

会員No.15 ボホール島在住

片山 和義

私は今フィリピンのボホール島にいます。この島はフィリピンで十番目に大きな島で人口は約100万人、自然がそのまま残っている未開発地区の多い島です。

この島の首都はタクビラン市で小さな田舎町といった感じのする町です。ここには飛行場が一つあり40人乗りぐらいの小型機がマニラより1週3往復運航しています。

この島は友情の島と呼ばれていて、ここにすむ人達は友好的で笑顔で接してくれます。私は平成12年7月末よりこの島でボランティアとして日本語教師をしています。

9月に数日休みがとれたので、パングラオ島という自然がそのまま残っている感じの島で、ダイビングスクールに5日間通い、ダイビングのライセンスを取得する事が出来ました。

フィリピンの海難救助隊志願の若者達と一緒にの英語によるレッスンや練習でした。最初はプールの中での実技などで多少不安感はありましたが何とかクリアーできました。実際に島の周りの15メートル以上深い海底で30分間の実習に出ると、海底にはまた別の世界が広がり数多くのサンゴを始め綺麗な魚や海の生物が、どこまでも澄みきった海に生息しているのを見て、何度も何度も潜水したくなってきました。ダイバー教師によるとここパングラオ島周辺の海は世界で二番目に綺麗な海で、一番はマレーシア周辺の海だそうです。

通常日本からダイビングのライセンスを取りに来る人の多くはセブ島に来て、そこで取得しボホールのパングラオ島周辺の海まで船で来る人達が多く、最近多くの日本人に出会いました。会員の皆さんでご希望のお方は是非年齢を気にせず一度挑戦される事をお薦め致します。

ボホール島にお出掛けになる予定がありましたら下記の住所までご連絡をください。

Bohol Language Training Center Inc.

Director Kazuyoshi Katayama

Japanese Teacher

Office:

BLTC INC.

Airport Compound

Tagbilaran City

Philippines

Tel/Fax 6338 411 2328

6338 411 5654

Residence:

Judge Payot Apt. No.2

Airport Side

Tagbilaran City

Philippines

Tel/Fax 6338 411 5157

Email:katayama@boholnet.com

では又。

ヤッター、やっと60才の誕生日がやってきました。

さあ・・・これで毎朝5時起床、1時間余をかけて通勤する事も、嫌な会議も、ノルマもそして当然の事ながら給料も何にもなくなりましたよー。でも、待ちに待った「海外生活」が出来る喜びが手に入ったんだと思うと嬉しくて、つい一人でニヤーとしてしまいます。

海外生活をするならアソコがいい、ココがいいと約2年掛けて下調べをしておいた国の中から例えば治安の問題、物価は、とか云う風に消去法で一つずつ検討した結果、残ったのがフィリピンとマレーシアでした。

フィリピンについては、南の会の諸先輩を含めて有り余る程の情報もあり、又私自身も何回も訪れたことがあるので、ヨシ！今回は1ヶ月程の予定でマレーシア全土を廻って「海外生活」に適した処かどうかを調べてやろうと思い立ち、1ヶ月オープンの安売りチケットを買いこみ勇躍9月27日成田へと出掛けました。

マレーシアについては、既に前号で高澤さんが詳しく紹介されているので二番煎じになりますが、まあ私の旅日記にも目を通して見て下さい。

まずはクアラ・ Lumpur へ、知人の紹介で3LDK、家具付のコンドミニアムを1ヶ月の約束で借用し、そこをベースキャンプとして駆けずり廻るとというのが今回の私の計画でした。このコンドミニアムは、クアラ・ Lumpur 市内北部の新市街にあり電車の駅PWT Cから徒歩4分、裏にはザ・モールと云う大きなショッピングセンターもある好立地、空港からは車で約40～50分程、オーナーは日本人で駐在員に貸していたんですが、帰国され現在は空家、そこで将来ロングスティする時に長期間借用する含みを持って、1ヶ月4万円で拝借をしました。

マレーシアは、かつて一時的にはあってもイギリス領であった関係からか、クアラ・ Lumpur のイギリス領事館が主催する英会話教室があり、クラスは本当の初心者クラスから上級まで色々なクラスが用意され、料金も他の民間の学校よりはるかに格安で1ヶ月約5,000円でOKということを知り友人から聞き、即領事館へ、入学手続きを、結果的に10日位しか通えませんでした、正当なキングスイングリッシュを学べたことはラッキーでした。

参考までに申し上げますと、私がペナンの木村さんを訪問した際、たまたま木村さんと、日本人会の星野さん、そしてコンドミニアムの購入を検討する為にペナンに滞在中だった、会員の加藤さん各ご夫妻と会食をする機会を持ってました。その際、星野さんから会員の皆様方を対象にペナンで1ヶ月、一流ホテルに滞在し、イギリス領事館の方による英語教室で勉強をしながらロングスティを楽しむ旅を計画中とのお話がありました。料金も1ヶ月滞在中で2食付き、ビール飲み放題で20万円余で納めたいとか。もし、かの地でロングスティの計画をお持ちの会員の方はお尋ねになったら如何でしょうか。

3日間を部屋の掃除とか、買い物、クアラ・ Lumpur の探検に費やしたんですが、この掃除が大変でした。マレーシアでの生活をお考えの方にそっとお知らせします。マレーシアでは何処でも家の内外を問わず体長5～7cm程の薄緑色をし、鳥のような鳴き声をする『やもり』が生息しています。

これが完全に閉め切っていた室内に何処からともなく浸入し所構わず『フン』を撒き散らして歩くのです。私の借りた部屋は約1年間無人、退去時にはきちんと掃除をして戸締りをしてあったんですが開けてビックリ、リビングといわず寝室といわず『フン』だらけ、特にすざましかったのがバスタブ、

これを掃除しない事には生活不能、そこでコンドミニアムの管理室へ行き「掃除婦を2～3人、半日間貸してくれないか？」と交渉したところ、なんと150MR（日本円で約4,500円）くれとおつしやる。この国の物価としてはとてつもなく高い。コノ野郎！吹っ掛けやがってそんなら結構だ、自分でやってやらーとばかりに裏のスーパーへ（これは今では倒産してしまった日本の旧『ヤオハン』でした）行き、雑巾、洗剤等掃除用具一式を買い込み大掃除に着手。これがもう大変、オギャーと生まれてこの方、一度だって掃除をした事のない私。テレビや映画の掃除シーンを思い浮かべ、サアやるぞ！まる半日汗まみれになり奮闘。ヘットヘト・ヨーレヨレになりながらも何とか終了。お陰で室内はピッカピカ。ザマーミヤガレこの野郎と1人で毒ずきながらビールで乾杯。皆さん、やれば出来ますよ男だって。その後、この可愛らしい「やもり」ちゃんとは滞在中長いお付き合いをさせていただきました。（あとで木村さんにこの話をしましたら、やはりペナンでもお姿を現わされるようで日本から帰ってきたら、先ず真っ先にメイドを雇って掃除をされるそうです。）掃除の疲れを癒す為（？）旅に出ようとばかり、2泊3日の予定でまず木村さん御夫妻をはじめ日本からのロングステイヤーが生活をされているペナンまでひとっ飛び。

この国はなんと交通費が安いこと、これには驚かせられます。ロングステイした時には旅行を十二分に楽しめる事間違いなしです。

ペナンは、流石に古くからイギリスによって開発されていた町だけに、美しい町並み、美味しい食べ物などがあり、皆さんが永住、ロングステイの適地として選ばれるだけのことがある都市です。たった一つ残念だったのは「海」が期待に反して、想像以上に汚れていたことです。

会員の皆様は既に雑誌等で星野さん、木村さんのお住まい、生活などについてはご存知でしょうから、あえてここでは触れません。

ペナンでは、木村さんのお住まいから徒歩10分程のホテルに滞在しましたが、木村さん御夫妻に屋台やら市場へ御案内いただき、将来のステイに役立つ貴重な情報を得る事ができた事は、今回の旅での大きな収穫だったと思います。ペナンへの旅を計画されている方は是非屋台での「海南チキンライス」にチャレンジを。

木村さんご夫妻の心からのおもてなしを頂いたお陰で快適な3日間を過ごせたことを感謝しています。

今度は東海岸のコタバルへ。ペナンからKL経由、ここは第2次世界大戦が真珠湾より数時間前に開戦されたという、山下奉文率いる日本軍が上陸したという海岸のある地で、今でも碑が残っていました。その後バスを乗り継いで東海岸を南下。最後はジョホール・バル迄8日間の旅を楽しみましたが、ここで一言ご注意を！ “マレーシアで夜行の長距離バスにはお乗りにならないように。” 万一やむを得なく乗車される時は、スーター又はジャンパー等防寒着が必需品です。まるで冷凍庫の中に居るような『寒さ』がサービスされます。そしてもう一つ耳栓もお忘れなく、なにせ真夜中でも訳の分からないインドのビデオが鳴り響きます。

東海岸は一昔前の日本の鄙びた漁村を思い出させてくれ、のんびりとした一時を過ごすには最適な村々が散在しています。又、小さな離島、これがお勧めポイントです。真っ白な砂浜、マリンプルーの海、真っ暗な夜空それら以外は何にもありません。そして当然のように1人の日本人もいません。時間を作って訪れられることをお勧めします。但し、その島々への往復のボートに乗るのにはちよっと勇気が必要ですけどね！

そして次にはこの回教徒の国にしては、珍しく博打が公認されているたった一箇所のリゾート地、海拔1,600m余りのゲンティンハイランドへ、そこのリゾートホテルの一つアワナホテルに20うん才の素敵な池田さんとおっしゃる日本人スタッフ（若くてとても素晴らしい女性です。）が勤務されて

います。ゲンティンは熱帯のマレーシアでも最高気温は25度前後しかなく、大変過ごし易い所ですから今後ロングスティの適地として検討に値する所ではないでしょうか。

“私見ですが、キャメロンより快適だと思います。”

到着早々、池田さんから南の会の会員の方が1ヶ月の予定で滞在されているので、ご紹介をしましょうとのこと。おん年72才の角田さん（会員№285）とおっしゃる熊本県の方が、只一人で滞在されていました。お住まいになっている熊本から福岡⇨マニラ⇨ダバオ⇨KL⇨当地へと飛行機・車を乗り継いでいらっしやったとか。ただ敬服するのみでした。

角田さんの御希望でKLを御案内し、そのままマレー鉄道で一路ジョホールバルまで6時間余りの汽車の旅、そしてマラッカへと2人の弥次喜多道中を続けました。が、72才のパワーに圧倒されるばかり、会員の皆様尻込み躊躇する事なく、この角田さんのように気楽な気持ちでお出掛けになって下さい。その後、マレーシア国内の主要な町々をほっつき歩いた結果、我々日本人がロングスティ・永住出来る所はKL、ペナンといった所しかないのではというのが私の結論です。

人それぞれなので、決して私見を皆様に押し付ける気は毛頭ありませんが、私の結論としてはキャメロンハイランドをはじめとして素敵なリゾート地や情緒あふれる街等がありますが、やはり人が生活して行くのには、適度な刺激があつてこそ人間が生きてると実感出来るのではないのでしょうか。その意味では永住・ロングスティの適地は、矢張り都会的なところがある町ではなかろうかと思えます。刺激だけではなく買い物等々日常生活にとつての便宜さ、これも町だからこそと思えます。

もう一つ、私達日本人はここ日本で世界で一番の、至れり尽せりのサービスを何の疑いもなく平然と当たり前のように受けています。海外では、残念ながらどんな先進国でも、そして発展途上国でも当然の如くこの様なサービスを受ける事は皆無です。ここマレーシアでも同様、決して良いサービスは期待出来ません。海外でのロングスティ・永住をされようと思われる会員の皆様は、こんな事は百もご承知でしょうが、私が海外で何時も実感させられる事なので申し添えます。これも海外でロングスティする際には十二分に心得ておく事だと思えます。

ここ2年間で色々な国でロングスティを試してみました。その僅かな経験から言えることは「思い立ったらどこでも良い、兎に角出掛けてそして実感して下さい。」ただそれだけです。

書籍・テレビ・講演会など海外での生活を紹介する情報が溢れています。それぞれの方々が夫々のご意見をお話になっています。それらを取捨選択されて、兎に角実行あるのみだと思えますが、皆様は如何お考えでしょうか？

この1ヶ月、とても楽しい且つ有意義な旅が出来ましたが、掃除・洗濯に自炊と常日頃カミサンの世話になっている事全てをやらなければならず、つくづくカミサンの有り難みが分かった一人旅でした。

やっと60才されど60才ここ数年の間に、よーし俺はこの国に骨を埋めるぞと云う国にめぐり合えるまで、放浪の旅を続けるつもりであります。

俺が行ったあの国は良かったぞーとか、この国にはこんな事があったぞーと、云う事がありましたら、是非教えて下さい。

実際に体験された方々のお話をお聞かせ頂くのが何にも勝る「情報」だと思っています。

皆さん元気で。

ペナン島からの便り

2000.12.3

ペナン島在住 会員No.18

木村 義光・まゆみ

下手な文章ですが、兎も角ペナンの様子について送ります。ご笑覧下さい。

オーストラリアでは、高い地位や財産を持っている人より、60歳位でリタイヤして残された人生で自分のしたい事をしている人が、一番尊敬されるのだそうです。日本でも、そう云う考えがこれからどんどん広まって行くと思います。

◇ペナン島『旅行』で注意すべき9ヶ条

- 1、道路横断など、交通事故に特に注意して下さい。車優先ですから・・・。
- 2、ペナン島街中のタクシーは、メーターの無いのが多いので、乗る前に料金を確認して下さい。
目安は10分くらいの距離で10RM位でしょう。そんなに悪辣ではありません。
- 3、突然、スコールがあります。(傘は役に立ちません、雨宿りの場所を早く確保して下さい。)
- 4、ホテル、飛行機、車の中の良く効いている(こっちへ来て風邪を引く人が多い)冷房に注意して下さい。カーディガンなどのご用意を。
- 5、飲み水はミネラルウォーターを買って飲んだほうが無難です。日中の強い陽射しの中では、ミネラルウォーターを携行して、飲んで下さい。
刺身など生ものも日本に帰ってから食べられるのが、ベターだと思います。(一流ホテルの刺身なら大丈夫とは思いますが)
- 6、屋台で食事をする場合、貝類はよく火が通っているか、注意して下さい。
- 7、貴重品のバックなどは、離れた場所に(食事、買い物)置かないように。
- 8、知らない人から、片言の日本語で話し掛けられても用心深くした方が・・・誘いこまれて「いかさま賭博」に引っ掛けてしまう日本人もいるようです。
- 9、ペナンの空港に着いたら、税関の荷物検査の手前に両替所がありますので、タクシー利用の方は、少し(1万円が約350RM [マレーシアドル])両替しておく和良好的です。
税関の荷物検査を終わって出迎えエリアに出て、右を見るとTAXIカウンターがありますので行き先を言ってチケットを購入して、場外にでるとTAXI乗り場があります。

◇ペナンで調べた日本食材の価格

「藤屋」日本食専門食材店

*交換レート：1RM[リンギット=マレーシアドル]は約28.57円

品名	数量	価格(RM)	備考
ラムネ		5.8	
ブルドックソース	300.0ml	9.9	
お茶漬け	3.0袋	6.2	
しそ		4.2	
玉子	1.0ケ	0.2	
味噌	1.0kg	13.0~19.0	
味噌 (カップ)	0.5kg	13.0~15.0	
お茶 (Tパック)	25.0袋	11.0	
納豆		5~8.0	
醤油	1.0ℓ	11.9~14.5	

品名	数量	価格 (RM)	備考
むぎ茶	50袋	9.6~14.7	
砂糖	1kg	12.5	
冷や麦	300g	9.5	
海苔 (全形)	8枚	8.2	
食べる煮干	50g	10.6	
煮干	90g	9.7	
油揚げ	3枚	4.0	
ハウレン草 (冷凍)	200g	11.7	
チューブからし		5.1	
チューブわさび		4.2	
チューブかつお梅		7.4	
チューブしょうが		5.7	
清酒 (菊正・紙パック)		75.0	
清酒 (菊正・ビン)		78.0	
アサヒ缶ビール	350ml	5.5	
焼酎 (純)	750ml	20.0~38.0	
オロナミン		4.9	
UCC缶コーヒー		3.9	
サケ切り身		15.0	
梅干	100g	9.8	
ヤマキめんつゆ	500ml	13.8	
マヨネーズキューピー	500mg	11.5	

◇ペナン島のショッピングセンターの価格「アイランドプラザ」

品名	数量	価格 (RM)	備考
トイレットペーパー	20.0ヶ	7.9	
洗剤 (アタック)	1.5kg	13.9	
紅茶リプトンTパック	50.0ヶ	6.6	
養命酒	1.0ℓ	77.9	
牛乳	1.0ℓ	3.2	
タイ米	5.0kg	8.6~17.9	
タイ米	10.0kg	15.9~31.9	
加州米 (錦)	2.5kg	17.5	・加州米のこしひかり
ネオソフト	180.0g	3.3	
サケ	2.0切	12.0	
玉子	30.0ヶ	5.6	
豆腐	240.0g	0.65	
小ぶりの大根		1.33	

私達はペナン島では相変わらず毎日ゴルフ、昼寝と日本では考えられないゆったりした生活を楽しんでおります。しかし、最近、ゆったりとしてばかりいられない問題が一つ、ゴルフ帰りの午後の車中での夫婦の会話でした。

「ねえ、これ早く貰いに行かなくっちゃア」それは、郵便局に何か取りに来るよにとの督促の手紙のようでした。「もしかしたら日本から何か食べ物でも送ってくれたのかも」・・・と、女房との会話で、私達は欲もからんで早速郵便局へ・・・

ところが残念ながら受け取ったのは、2通の英文の手紙でした。文中わずか、一つ、先日覚えたての単語「トラフィック」を発見「ああ、それは、マッサージの宣伝だ」と私、「違うよ、銀行から預金して下さいって勧誘じやーない」とワイフ、後で解った事に私はトラフィックをトラディショナルと単語を勘違い、てっきり、その頃はまっていた、タイのトラディショナル・マッサージの宣伝だと思つたのです。

後で解った事ですが、車を運転して買い物の途中、黄色の信号（トラフィックライト）で入ってしまった交差点にカメラが仕掛けられていて、私達の違反の事実がバッチリ写真に取られていたのだ、そして同じ日の1時間に2回、同じ交差点内で違反をしたのだとマレーシア人の友人に笑われて、600ドル（18,000円）の罰金請求だと教えられました。

私たちはマレーシアでも違反カメラがあったのだと感心したり、頭にきたり・・・。

彼のアドバイスは、警察で、言い訳を3分、反省を7分の割合をしっかりと守ってしかるべく述べれば1/3に減額されるのが通例との事。600ドルと200ドルの数字が私の頭の中をくるくる・・・これは何としても、200にしてもらわねば、と最近劣化した頭に強引に詰め込んだ、少ない英単語を駆使して、何とか、この危機を乗り越えるべく、ドキドキしながらペナン警察本署へ向かった訳です。さて、結果はどうなったでしょう???

◇ペナン島で暮らす14ヶ条

- 1、駅前ティッシュを持参せよ。（トイレに紙がない、トイレの使い方が西洋式ではない）
- 2、有料トイレが多い。（20セント必要）
- 3、道路の横断には最大限の注意を。（車優先）
- 4、ペナンはレーサーが多い。（バイクの無謀運転）
- 5、赤唐辛子は、無視出来ない。（虫よけに威力発揮）
- 6、左利きの方ご用心。（左手で握手や頭をなげない。イスラム教徒が多い）
- 7、ミネラルウォーターを離すな。（水分の補給は絶対必要）
- 8、牛に注意。（道路を牛が通行、牛優先道路かな）
- 9、忘れるな。（公共料金の納付、すぐ止まる）
- 10、食べ過ぎるな。（食べ物うまさすぎる、太る）
- 11、約束を当てにするな。（1時間位の遅刻でイライラしない）
- 12、イスラムの女性と婚前デートは注意。（宗教警察に逮捕されるかも知れない）
- 13、突然のスコールにご注意。（傘など何の役に立たない位）
- 14、今までの注意をあまり真剣に考えるな。（日本との違いに悩むと外国では生活できない）

その他、

- 公共料金などの支払いですが銀行での、口座引落としシステムになっていません。いちいち、郵便局へ持参支払いです。
- ペナン島の人達は、大の冷房好きです。慣れない外国人は、銀行、デパート、ホテル、タクシーの車中などで、風邪をひいてしまいます。
- 車の価格が高い（日本車などの外車は関税が高く日本の2倍位します。）

2000. 12. 3 木村義光/まゆみ

フィリピン・セブ界限物価表

セブ在住 会員No.27 金令木 十尊 調査

*1ペソ: ¥2.38-で換算するも、小数点以下は切り上げてあります。

2000年10月現在

項目	摘要	ペソ	円換算	備考
家賃	BFホームズ (家具なし) 40㎡	6,000	14,280	・すべてサブディビジョン
家賃	BFホームズ (家具つき) 40㎡	8,500	20,230	
家賃	カメラアホームズ (家具なし) 30㎡	3,500	8,330	
家賃	パラダイスビレッジ (4寝室、プール付) 200㎡	38,000	90,440	
電話 (基本料金)	基本料/月	802	1,909	
電話	初期設置	2,092	4,979	
電話	市外通話 (セブ〜マニラ) 1分	6	15	
ケーブルテレビ	月	450	1,071	
日本語新聞	日本語/宅配/1ヶ月契約	1,100	2,618	
英字新聞	個別売	7	17	・宅配もある
プロバイダー (mozcom)	20時間/月 (年払いによる減額あり)	660	1,571	
プロバイダー	25時間/月	880	2,095	
プロバイダー	入会金 (Deposit)	800	1,904	
携帯電話	プリペイド/本体のみ	5,390	12,829	
携帯電話	テキストメール1通話	1	3	
マンゴー	1kg (3月)	50	119	・35p〜50p (季節により変動)
パイナップル	大1個	15	36	
バナナ	普通サイズ 1本	1	3	
ミネラルウォーター	1.8.9ℓ 宅配	60	143	
食パン	専門店の高級品 (半斤)	40	96	
食パン	アヤラセンター (1斤)	30	72	
鶏卵	1個 (小)	3	8	
鶏卵	6個入りパック	20	48	
玉ねぎ	1kg	40	96	
ジャガ芋	1kg	50	119	
焼きそば (カントン)	普通のレストラン	55	131	
ラーメン定食	日本食レストラン	200	476	
焼き鳥定食	現地人向けレストラン	75	179	
トイレトペーパー	2ロール	24	58	
ケンタッキーフライドチキン	1セット	82	196	
ゴルフプレイfair	マタタンコーラルゴルフクラブ	650	1,547	・他にキャデファイ150
ゴルフプレイfair	アルタビスタ (上級コース)	2,000	4,760	・他にキャデイチップ50
ゴルフプレイfair	練習場、10箱 (300発) ボールボーイ含む	300	714	
ガソリン	プレミアム	17	41	
ガソリン	レギュラー	16	39	
床屋	アヤラセンター	70	167	・カットと際剃りのみ
床屋	市中の普通の床屋	40	96	
床屋	近所の床屋	25	60	
中古車	カローラ/96年式/AT	39.9万	96万	・程度不明
中古車	三菱ピックアップ	27.5万	66万	
ジブニー (乗車賃)	セブ、マングラウエイ、マクタン	3	8	
トライシクル (乗車賃)	乗り合い (島内)	6	15	
トライシクル (乗車賃)	1人乗り (島内)	30	72	・時間帯により上下
コーヒー (喫茶)	SMのスタンド	20	48	
コーヒー (喫茶)	空港の喫茶店	35	84	
タバコ (フィリップモーリス)	SM	19	46	
タバコ	路上売り	35	72	
タバコ	ホテル	70	167	
タクシー	初乗り	20	48	・250mごと1pアップ
写真フィルム	ASA100/24枚	75	179	

情報交換会・パソコン教室開催のご案内

1、第5回情報交換会開催

本年最初の特別企画、第5回情報交換会を開催いたします、多数の方の出席をお待ちしております。何時も40数名の方々にご出席を頂誠に有難うございます。会員同士の情報交換の場です。そして少しでも会員のお役に立てばと開催するものです。是非参加され和気藹々の会にして下さい。

◆今回から開催場所を変更しております。

- ・日時：平成13年1月27日（土）午後2時より5時まで、以後懇親会5時より
- ・場所：東京都大崎事務所、南部労政会館

東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎、ウエストタワー2階会議室

JR大崎駅徒歩5分（案内図を参照）電話：03-3495-4915

- ・情報交換会会費：500円 ・懇親会；午後5時より、（食事：2,500円 [ドリンクは別途]）
- ・予定講師；☆コスタリカ共和国観光局：五十嵐様。 ☆フィリピン通産省顧問：浅野様。
☆マニラ在住：塩見様。 ☆会員：川上様（ロングステイ体験ホームについて）

◇参加希望の方は別紙申込書に記入後連絡下さい。

（下記のFAX、或いはEメールにて）

2、第2回パソコン教室

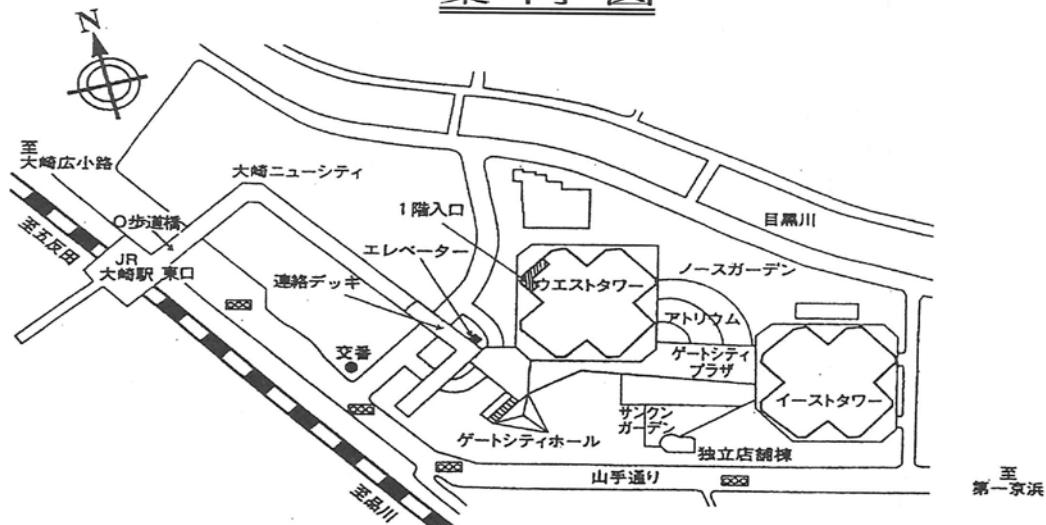
前回に引き続き、今回はワープロを中心とした教室を開きます。

- ・日時平成13年2月24日（土）午前10時より午後4時まで
- ・場所上記と同じ場所です
- ・会費：1050円（テキスト代550円含む）初参加者は2,000円（テキスト代含む）

◇参加希望の方は別紙申込書に記入後連絡下さい。

- ・返信先（上記参加の方は1月23日までに下記に送付願います）高沢弘晃 宛
- ・FAX/電話：042-373-6530 ・Eメールアドレス：fwjc5962@mb.infoweb.ne.jp

案内図



[道順：大崎駅東口→0歩道橋→連絡デッキ・エレベーター(下りる)→1階入口]

「南の会」タイランド、ロンクステイ調査体験ツアー案内（8日間）

*予定期日：平成13年6月24日（日）～7月1日（日）

*予定料金：12万円～13万円。

日時	都市	時刻	コ ー ス 内 容	食 事	航空会社/宿泊
1	成田発 バンコク	午後 深夜	・空路、直行便にてバンコクへ ・着後、ホテルへ	機 内	J L 707 / (バンコク・ホテル)
2	バンコク	午前 昼 午後	・午前中、ごゆっくりとお過ごし下さい。 ・タイ在住日本人との飲茶のご会食 ・タイ在住歴25年古賀氏の現地事情オリエンテーション ・(OP)タイ宮廷料理の夕食と古典舞踊鑑賞	朝・昼	/(バンコク・ホテル)
3	バンコク	終日 昼 夜	・食後、バンコク市内観光 ◎王宮、◎エメラルド寺院、◎暁の寺院、 ・タイ料理のご昼食 ・寝釈迦仏寺院にて、タイ式マッサージ体験 ・その後、自由行動 ・(OP)チャオプラヤ川ディナー・クルーズ	朝・昼	/(バンコク・ホテル)
4	バンコク	午前 昼 夕刻	・現地生活視察ツアー (ショッピングセンター、バス・スカイトレインの乗り方、病院、 介護施設見学、サービスアパートメント 見学など ・昼食は、現地のフードセンター にご案内（自由食） ・その後、自由行動	朝	/(バンコク・ホテル)
5	バンコク アユタヤ	終日	・朝食後、バスに遺跡の町アユタヤへ ・着後、アユタヤ観光 ◎バン・パ・イン離宮 ◎日本人街跡 ◎ワット・ヤイヤイ・モンコン ◎ワット・プラ・マハート ◎ワット・プラ・シーサンパット ※ご希望の方は、象に乗り、 アユタヤ遺跡を大行進（別料金） ・昼食は、洋・中・タイビュッフエ ・観光後、バンコクへ戻ります ・その後、自由行動	朝・昼	/(バンコク・ホテル)
6	バンコク	午前 昼 午後	・タイで暮らす日本人家庭訪問。 ・日本料理のご昼食 ・空路、チェンマイへ ・着後、タイ北部名物カントークディナーショー	朝・昼・夕	T G /(チェンマイ・ホテル)
7	チェンマイ	午前 昼 午後 夜	・朝食後、チェンマイ郊外観光 ◎ワット・プラカート・ドイ・ステーブ ◎メオ族の村等 ・タイ料理のご昼食 ・チェンマイ市内及び郊外観光 ◎ボーサン工芸村 ◎ワット・チェンマン 等 ・海鮮料理のご夕食後、空港へ ・空路、バンコク乗り継ぎにて帰国の途へ	朝・昼・夕	T G J L 718 (機内泊)
8	成田着	早朝	・通関手続き後、解散となります		

◇手配旅行会社：近畿日本ツーリスト、

◇南の会企画者；調査担当理事：三井田 雅俊

「南の会」フィリピンロングステイ調査体験ツアー案内

平成12年12月9日

日 時	発着地/宿泊地	時 間	交通機関	行 動 予 定	備 考
1	成 田 マ ニ ラ スービック	09:30 13:40 18:30	PR431 専用車	フィリピン 航空にて一路マニラへ 到着後専用車にてスービックへ 所要時間約：4時間 H：スービック インターナショナル ホテル	*スービック 滞在中の予定 ・ビレッジ訪問 ・日本人居住者と懇談
2	スービック	終 日		朝食：ホテルレストラン 終日自由行動 H：スービック インターナショナル ホテル	
3	スービック マ ニ ラ	08:30 13:00	専用車	朝食、昼食、夕食付き マニラ到着後市内観光 H：マニラホテル	*マニラ滞在中の予定 ・日本人居住者と懇談
4	マ ニ ラ セ ブ	09:30 10:45	PR853	朝食、昼食、夕食付き フィリピン 航空にてセブ島へ セブ到着後市内観光 昼食付き H：ウオターフロントホテル	*セブ島滞在中予定 ・ビレッジ訪問 ・日本人居住者と懇談
5	セ ブ	終 日		朝食：ホテルレストラン 終日自由行動 H：ウオターフロントホテル	
6	セ ブ セ ブ ダ バ オ	08:30 09:25	PR409	朝食、昼食、夕食付き フィリピン 航空にてタバオへ 到着後ホテルへ H：マルコポーロホテル	*タバオ滞在中予定 ・ビレッジ訪問 ・日本人居住者と懇談
7	ダ バ オ ダ バ オ セ ブ	16:00 17:00	PR460	朝食、昼食、夕食付き フィリピン 航空にてタバオ⇄セブ島 到着後ホテルへ H：ウオターフロント ホテル	・水/木/日
8 火/金	セ ブ 成 田	02:25 07:55	PR436	フィリピン航空にて成田へ 成田到着 お疲れさまでした	・セブ発:07.55 ・成田着:13.25

摘要

- 1)上記は宿泊2人1室朝食付き及び日程に記載された交通機関の費用、現地ガイド費用を含みます。
 - 2)旅行期日：平成13年3月中旬（期間7泊8日）
 - 3)旅行費用：¥180,000-/一人（航空券、現地ガイド、現地地上費、日本・フィリピン 空港税、渡航書類作成費）
 - 4)最低実施人員：12名（見積もり条件）
 - 5)宿泊部屋1人1室をご希望の方は申し出て下さい。（相談に応じますが割高になります）
 - 6)観光はビレッジ訪問などの途中、適宜に考慮しています。
- 注1. 終日自由行動日の昼食と夕食費は含みません。尚現地のガイドを考えています。
- 注2. 参加者が定員に満たない場合は中止する事もあります。

☆「南の会」企画者；広報担当理事：宮崎 哲郎

◇企画手配旅行会社（本ツアー申込先）

（株）ニッサン トラベル

東京都港区西新橋1-19-5 東京都知事登録旅行業第3-3527 取扱責任者：吉田 善也

☎：03-3501-3451 FAX：03-3501-3452 Email:nis-tvl@.mc.kcom.ne.jp 以上

タイ王国のヴィザ取得の苦労談

2000. 12

タイ国・イサーン在住 会友 倉田 敬吾

前回のメールではヴィザ情報をと大見得を切りましたが、ロングステイの皆様には余り有益ではないかなと思いついていたところです。

それでも何も報告しなければ意味がないので、私が取っている非移住の3カ月有効のヴィザについて取り敢えず報告します。

これはビジネスとか留学でタイ王国に来ている人が利用するヴィザです。

当初3カ月の有効期間でタイへ入国するのですが、その後引き続き滞在して延長するためには、タイの雇用証明などが改めて必要になります。

まず私がタイへ最初に入国したときは、その前に東京の目黒のタイ大使館でこのノンイミグランドヴィザを取得して来たのです。大使館へ行けば必要書類の一覧表をくれますので、それに従い揃えれば大抵問題なく取得出来ると思います。一番気を付けなくてはいけないのは、タイ国内の雇用主からの招聘状とか日本でも身元保証人（会社員であれば、通常は会社社長の保証書）を提出するのですが、退職後の私には誰もおりませんので仕方なく家内を保証人にしました。

ところが、家内の雇用主からの保証も書面で必要との事で、勤め先の校長先生に適当に説明して、「とにかくここへ印鑑を押してください」とお願いして、仕立て上げ何とか取得したような状況です。また、貯金通帳も原本を持参して見せなくてははいけませんでした。

さて、ようやくタイへ入国しましたら、ワークパーミット（労働許可証）を取得しなければなりません。これには最低雇用主の雇用証明が必要です。そうして、最初の3カ月が切れる前にタイ国内のバンコクかノンカイというラオス国境にあるイミグレーションオフィスへ出向き、延長手続きをすれば、雇用契約により最長1年間延長出来る事になります。

労働許可証もこれに連動して、また延長手続きをする事になります。

***タイ国内でのノンイミグランドヴィザの延長手続きに必要な書類を箇条書きにしてみます。**

- 1)顔写真（縦6センチ横4センチの大きさのもの）
- 2)雇用契約書
- 3)雇用主からイミグレーションオフィス宛の延長手続き依頼書
- 4)パスポート
- 5)ワークパーミット
- 6)所得税の納税証明書（市役所の納税課発行のもの）
- 7)上記2～6の書類につき、提出用に全てコピーを取りその全てにサインが必要
- 8)料金は500バーツ（約1300円）以上を揃えてバンコクのイミグレだと丸一日仕事で何とか取れそうです。

ノンカイでは書類に問題がなければ、1時間～2時間位で取れますが、今までの経験では一発で取れる事は少なかったです。そうするとノンカイまで片道250km、バンコクだと片道500kmを往復しなくてはならないので、この手続きは本当に嫌になります。

***ワークパーミット（労働許可証）取得の必要書類を箇条書きにしてみます。**

- 1)顔写真（上記と同様の大きさ）
- 2)パスポート
- 3)雇用主からワークパーミット事務所宛の発行依頼書

4)パスポートのコピー

5)料金は延長期間6カ月以内600バーツ、それ以上は1000バーツ、これらをヴィザの延長手続きをしたすぐ後で、しかもワークパーミット期間内に所定の事務所に持参して延長願い書を作成することになります。

通常は一週間後に認定されますので、そのワークパーミットの手帳を取りに行くことになります。タイにはご存じの事と思いますが、この他にリエントリーヴィザ（いくらヴィザの有効期間が残っていても、一旦国外に出てしまうとこのヴィザが総て無効になるのです。これを防ぐために再入国ヴィザを取得しなければならず、一回だけの出入国用のシングルと何回でも出入国出来るマルチプル用の2種類があります。）なるものがあります。

*リエントリーヴィザ取得の必要書類を箇条書きにしてみます。

1)顔写真（上記同様）

2)パスポート

3)リエントリーヴィザの申請書（イミグレに備え付けのもの）

4)料金はシングル500バーツ、マルチプル1,000バーツで、これはヴィザさえ取得してあれば割合簡単に同時に取得出来ます。が、バンコクでは窓口が全く別で1階と2階に別れているのでこのヴィザ延長と、リエントリーヴィザの取得が連動して取れないのです。一旦2階でヴィザを延長してもらうのに1日掛り、その後リエントリーヴィザを取りに1階へ下りてくるのですが、このリエントリーの申請はなんと午前中しか受け付けません。午前受付して、午後発行してくれるという手続きなのです。ですから大抵は2日掛りの仕事になりますね。

タイは基本的に日本で言えば、江戸時代の体制ともいうような古い体制が、少しずつ現代的に変わりながら継続してきている国なので役所なども嫌になるほど効率が悪く、そのうえ権威主義的でおまけに書類主義なのです。

で、こういうときに怒っているのは、生真面目なイギリス人と日本人だけですね。役所仕事に怒っているのに、こともあろうに当の役所の人間から“マイ・ペンライ（きにしない）”ときます。私は殆ど呪いたくなるような気持ちで、“アンタには言われたくない！”と言ってやりたいのを我慢するのが精一杯です。

同じ学校の英語のイギリス人教師などは、タイ人と結婚するときの手続きに貯金通帳が一杯になったので、新しく作り替えてもらった手帳をノンカイのイミグレまで持って行って提出したところ、古い方の手帳も持って来いと言われ、それだけのために往復500kmの無駄足を運んだと言って大いに怒り、私も自分の似たような経験をあげつらって大いに二人でコキ下ろした事があります。タイのヴィザはこの他にヴィザ不要の観光用30日間有効のノーヴィザと、観光用でも60日間有効のツーリストヴィザと、あとは移住用のイミグラントヴィザがあるのです。

*結論が最後になりました。

ですから、ロングステイ用にはツーリストヴィザで来て、60日経過したらあと30日の延長願いを出せばいいのです。此の手続きには、パスポートと写真と航空券と申請書だけでいいと、ものの本には書いてあります。これで合計90日は居られる訳ですね。90日を経過すれば、どこか近い国外のタイ大使館へ行って、再度ツーリストヴィザを取得して舞い戻るということになります。これにはシンガポールとペナンが便利だと言う事ですが、最も経済的なのはラオスのビエンチャンですね。国境から20km位なので交通費が安いのです。ただし、どこでも申請してから3日後でないと発行されませんから注意が必要です。私はこの3日掛かる手続きを2度とも、たった一日で取得出来ましたが、タイ人を連れて行って、また、パスポートを貰うときに事務所にワインなどの手土産を持って行きました。

タイ人も何か持って行ったほうが良いと言うのですね。ワイロはどここの国でも付き物ですね。

昨日、家内からの書籍と一緒にお送りくださいました南の会の会報が届きました。すばらしく充実した内容で有り難く読ませてもらいました。

では、今回はこの辺で。

倉田 敬吾

追伸

タイで日本の定年退職者を対象にしたロングステイの斡旋をしている、元山一証券の証券マンが起こした会社があるとの話を聞いておりますが、詳しい内容がわからないのです。この間からインターネットでも探しておりますが、見付かりませんでした。たしか、保証金200万円を積んでチェンマイあたりのアパートを借りて暮らすような内容のようですね。

情報がありましたらご面倒でも転送かなにかで教えていただけると有り難いです。

銀行預金利率の件ですが、タイもフィリピンには及びませんが結構高いですね。

ただし、日本人とみるとバンコクあたりでは利息を付けてくれないという話があり、ひどい話です。が、私の住んでいるイサーンでは同じ銀行の銀行員なのに取り扱いが違い、普通預金でも去年は4.5%、今は下がって3%位ですね。それでも日本に比べるとダントツの高さですね。

先日のビザの件、会報へ載せてくださるということですが、そういう前提で書いたものではなく、いい加減な書き方をしてしまいました。

といっても、内容には間違いないので、面白くするために、タイの行政体制は日本でいえば江戸時代からロクに変化がない、というように書きました。

この真意は日本のように江戸時代以降、明治維新とか、太平洋戦争とかいうような価値観を含めての一大変革があった国と、それに匹敵するような変革がなかった国という対比の意味で書いたのです。

私のメール内容はあまりこの会の本意に沿ったものではないように思ったのですが、もし、会報に載せるのなら、蛇足だとは思いましたが、付記させて頂きました。

それはそうと私は会報を拝見させて頂いて、タイよりフィリピンの方がいいかも知れないと感じはじめました。

そこで、なるべく近いうちにフィリピンへ行って情勢を現実に見て来たくなるところです。すぐに行けるとは限らないのですが、フィリピンへの現地訪問などは現地在住の方と個人的に連絡をとったりさせて頂いて、出掛けてもよろしいのでしょうか。会の方針などについてお教えてください。

ゴタゴタと書いてしまいましたが、よろしく願い致します。

乾期になってから朝晩涼しくなり、凌ぎ易いタイのイサーン（東北地方）から 倉田敬吾 でした。

南国を楽しむ（ロタの場合）

2001. 1

会友 ロタ島在住 山本 隆

明けましておめでとう御座います。久し振りに紅白を最後まで見ました。南の島のお正月はNHKテレビで流される日本のお正月の風景を楽しむお正月です。

南国は人間を楽天的にさせる。常夏の気候で餓えや寒さの心配をしなくて良いからだろうか。木に登れ、潜りができれば生きて行ける最低限の食べ物が手に入る。アウトドア志向となる。手持ちのお金が少なくても何とか過ごして行けると言う気安さがある。

以前住んだことがある北国ではそうはいかない。作物を育てる事が出来るのは6～8月の3ヶ月の短い夏の間、9月末になると雪が舞い始め不毛の土地となる。長い寒い冬をじっとやり過ごす事になる。それなりの楽しみはあるが、ちょっと陰鬱だ。

南国を志向する人は、暖かさや楽天を求める以外に、夫々に好みや動機、思い入れがあり、行き場所を決める。同じ南国でも場所によって生活環境やアクティビティが大きく異なってくる。また滞在期間や住む住居の形態（ホテル/コンドミニアム又は一戸建）によっても滞在の楽しみ方が変わってくる。

ここでは北マリアナ諸島ロタ島で生活を送っている一軒家での南国の楽しみ方を考えてみたい。

.....

ロタは自然がたっぷりあるが観光客を遊ばせる施設は少ない。アメリカの自治領でドルを使うので東南アジアの国の様に安い通貨のメリットはない。物価はむしろハワイ（ほど高くないと思うが）に準ずると考えておいた方が良いのかもしれない。

ロタに土地を借り家を建て2年前移り住んだ。年間気温差10度の中で暑さ、涼しさを感じ取り、微妙な季節の移り変わりも体感出来る様になった。2年間の体験をもとに海と土に密着したロタの生活を折に触れ紹介してみたい。

海を楽しむ（その1）

我が家から海岸まで歩いて1分。海を見下ろす西を向いた小高い場所で家の裏側はジャングルに覆われた山の斜面が続いている。北東の貿易風の風裏で西日がもろに当る午後は、部屋の中に熱がこもりやや暑くなるが（一番暑くなりやすい6～7月の晴天日で最高33度程度）、晴れた日には目の前に群青色の海が広がり、美しい夕日を眺める幸せは何物にも代え難い。海が近いので寝ていても絶えず潮騒が聞こえてくる。

ここでは海とは切り離せない生活だ。海の中は透明度が高く（ダイビングの言葉で“抜けが良い”と言うらしい）明るい。勿論年中暖かい。家より水着姿で歩いて海に行きリーフの内側でスノーケリングを楽しむ。海が穏やかなときはちょっと冒険してリーフの外に泳ぎ出してみる。リーフの外側は波が高かったり、流れがあると沖に流されたり、リーフに叩きつけられる危険な場所になるので注意が必要だ。海に入った瞬間訪れる青い沈黙の世界。魚と一体になり漂う、カラフルな熱帯魚、サンゴ・・・時には亀やサメにも遭遇する。

海よりあがりシャワーを浴びた時の爽やかな気分は最高。暖かい海で重力から開放される浮遊は体にも良いらしいし、年配者にもやさしいと思う。

余談になるが石原東京都知事が、天皇陛下とお会いした時のエピソードを読んだことがある。天皇陛下は伊豆・下田の海でスノーケリングをして、人生観が変わったと言われたらしい。天皇陛下の人生観とはどんなものか興味があるが、海の中を初めて体験した人にはそれほどの感動をもたらす。未経験の方、特に年配の方にはダイビングやスノーケリングを是非お勧めしたい。ダイビングはタンクを背負ってより深く長時間潜れるがトレーニングが必要、手軽に楽しむにはマスクと空気を送り込む短いパイプだけのスノーケリングセット（数千円もしない）で十分。泳ぎに自信の無い人にもダイビングショップで救命胴衣を着けたスノーケリングツアーをアレンジしている。では又。

☆会の皆様、香港より (2000年12月17日)

日本はだいぶ寒くなったようですが、こちらは今23度、久々のぼかぼか陽気です。

毎年今頃になると住んでいるアパートの下にある、ショッピングセンターにはカメラを持った人が沢山やってきます。クリスマスの飾り付けをバックに記念撮影するのが目的です。日本同様、クリスマスはキリスト教そっちのけのお祭り化しています。それでも尼さんやモスリムの若い女性たちがクリスマスツリーの前で、キヤッキヤ騒ぎながらポーズを取っているのは何となくミスマッチな光景です。

◇香港便り - 6、 「香港のすぐれもの 『八達通』と『CD』」

日本よりも進んでいて、イイなーと思う物の中に『八達通』(オクトパス)があります。交通機関用のプリペイドカードの事です。

このカードは非接触型といって日本の自動改札用のカードと違い、わざわざ定期入れなどから取り出して改札機に挿入する必要がありません。改札機上にある黄色の感知器の上をカードが通過すれば、ピーと鳴ってOKです。つまり定期入れに入ったままでかざすだけで良いのです。女の人なんかはハンドバックの底にカードを入れておいてハンドバックごと感知器の上にドスン。これで通過できます。さらにこのカードは使い捨てではなく、残額が少なくなったらお金をもって窓口に行く追加が出来るのです。カードは地下鉄、電車の全線とほとんどのバス(3社とも)、加えて一部のフェリーや地下鉄駅構内にある3分間スピード写真やパン屋でも使えてとっても便利です。日本だと地下鉄、JR、私鉄みんな別々にカード買わないと駄目だし、改札の手前で定期入れから定期券を出したりけっこう苦労しますが、そういった面倒も一切なし、日本でもすぐ導入して欲しいですね。

もう一つは銀行の『CD』(キャッシュディスペンサー)です。香港でもATMと呼んでいますが預金は殆ど出来ないなので実際はCDです。預金も出来ないのにどうして優れものかと言いますと、何時でもどこでもお金が下ろせる点です。まず機械が2種類しかない。日本ですと、提携している三和と東海などを除いては口座を持っている銀行でないと手数料余計に取られますね。ところが香港は1種類の機械でしか下ろせないが、銀行の看板をいちいち確認する手間は日本の10分の1位です。2種類の内一つは香港上海銀行と恒生銀行しか参加しておらず、それ以外は全部「銀通」マークが銀行のキャッシュコーナーについているから識別はとっても簡単。そのうえ24時間何時でも引き出しが可能なんです。カードによって手数料が0~3000円取られますが、50万円相当の香港ドルを普通預金に入れておけば毎月、2000円弱の利息が入金されますから2ヶ月で元が取れます。手数料を払っても断然便利と言う訳です。また、利息に税金も掛かりません。

ただ便利過ぎて困る事もあります。行き付けのお店に飲みに行って、そろそろ帰ろうとすると、「もう一杯飲んでいきなさいよ」とママさんの声。「でも持ち合わせないから」と私。すると「ATM、ATM」と言われて、つつい予定以上の出費に、なんて事もあります。

いずれにしてもCDの機械種類や時間などによって手数料ばかり取られて利息が貯まらない日本よりは全然イイですね。

◇香港便り - 7、 「凍える亜熱帯」

香港は日本より緯度が低く位置していますから、気候は総じて温暖です。冬でも7℃を下ることはまれ、夏は意外なことに日本ほど暑くありません。34℃以上ということはまずない。連日熱帯夜ですが一日の気温は28~32℃と上下の差があまりないので、特に暑さを厳しく感じることは少ないのです。と言う訳で、日本より快適と思われそうですが、ここに意外な落とし穴があつて実はとても過ごしにく

いのです。

理由の第一は暖房設備がないこと。10℃前後で暖房がないというのは結構こたえます。電気店には小さな電気ヒーターやオイルヒーターが並んではいますが、コンクリートのアパートの中では火鉢ぐらいの効果しかありません。そのうえ地下鉄やスーパー、ビルには一切暖房がない。15℃ぐらいだと逆にクーラーを入れているほどです。この為たまに5度以下に冷え込むと、必ず凍死者が出ます。

第二は香港人のクーラー信仰です。とにかくクーラーをかけていないと気が済まない気質なのです。街中は大気汚染がひどくてこれをどう解釈したのかクーラーをかけていると空気が綺麗になると思こんでいます。10℃代ならまずクーラーかかっていますから、もう一枚上着が必要になります。春や秋に冷蔵庫のようなバスに乗ることがしばしばです。

こういうとき日本企業の人は大変です。遅れて入社してくる香港人社員が最初にするのはクーラーのスイッチをオンにすることです。しばらくして日本人が寒い、寒いと言ってスイッチをオフ。また、少したつと香港人がスイッチをオン。いちごっこが始まります。たまりかねた日本人がクーラーはだめ！と香港人に言うと今度はすかさず窓際に走って、窓を全開に、おかげで日本人はいつでもブルブルふるえいます。

飛行機でも香港資本のキャセイ航空は冷房が特につきいです。

2年前バスの中で中年婦人が凍死するという事故があったのですが、それはまれなケースと判断されたようで、いっこうに事態は変わっていません。それどころか、日本のメディアが香港人の医者（英国の医大卒）に夏の冷房病対策を取材に行ったところ、「冷房病？そんな病気は存在するわけがない」と記者がキチガイ扱いされる羽目になったほどです。

とはいっても寒いと感じる人はいっぱい居るんですがね。冬の晴れた日なんかは、毛皮のコートにくるまった観光客とTシャツ1枚の香港人がすれ違う光景をよく見かけます。

だから私は一年中風邪との付き合いが絶えません。

日本では連日オリンピック放送で盛り上がっているようですね。

香港では日本の種目は殆ど放映されず残念。NHKニュースでさえも、結果を伝えるだけで映像は「放映権の関係でお見せできません」のテロップが入り写真だけ。こういう時だけエリート駐在員御用達の高級マンション（NHK・BSが受信できる）の人たちがうらめしくなります。

◇香港便り - 8、 「ドル、ドル、円」

私の給料は香港ドルで支払われていますが、ローンを抱える身なので日本円も必要です。そこで、為替レートという厄介な問題を考慮しなくてはならないこととなります。

当然のことながら生活資金だけなら香港ドルだけで十分です。が、この香港ドルというのがくせ者でして、米ドルにリンクしているのです。これだけですと、香港ドルは米ドルと同じ価値と見ればいいのですが、香港は中国の一部ですから人民元の影響も受けることが多く、動向によっては米ドルとのリンクがはずされる危険性を常にはらんでいます。従って、基本的には対米ドルの円相場を見ながら中国情勢にも十分気をつけてのやり繰りが必要となる訳です。私の場合生活資金は香港ドル、余裕資金（万一の場合の備えも含めて）は米ドルで、そしてローン返済は日本円と3つの通貨を使っています。

ローンをうまく返すためにはまず円安の時に多く返済するのが有効です。円安の時には香港ドルを日本円に替えると、円高時よりも日本円の額が大きくなります。このため、定期的に日本に送金するのではなく、円安時には多く、円高時に少なく送金するのです。このところずっと円高が続いていますが、こんな時はいつまでも返済を延ばしていると、口座の残高がゼロになってしまいます。この対策として、日本の銀行口座に定期預金（日本円）を作って総合口座にして置くのです。こうして置くと例えば100万円の定期を自動継続扱いにすると、普通預金の口座に残がなくなっても最高90万円（定期金額の90%まで）当座貸し越しがうけられます。それで私の普通口座はいつもマイナスです。

当座貸し越しには貸し越し利息が取られますが、3～4円の円安を考えるとマイナス口座にした方が有利なのです。

もう一つ理由があります。それは香港ドルの金利です。香港ドルは最低1週間から定期預金が出来ます。金利はだいたい5%以上です。普通預金でも4%以上の金利が毎月つきます。その上利息に税金がかかりません。つまり為替相場がまったく変わらないとしても、香港ドルで運用すれば、日本円よりも4%近く有利なのです。日本の当座貸し越しの利息ぐらゐは香港ドルなら1～2ヶ月で取り戻せます。出来るだけ円高の時は香港ドルで貯めておいて、利息を稼ぎ、円安時をみはからって一気に送金するのがベストです。

一方、米ドルは纏まった金額からでない定期には出来ませんが、金利は香港ドルとほぼ同水準です。安全性を考えると一番ですので当面使わないお金は米ドルの定期にしています。

しかし、手元にお金があるとなかなか貯まらないものです。数年前の円安局面ではうまく送金できましたが、このところはずっとマイナス金額とにらめっこ。ぎりぎりのところで送金という形を繰り返しています。

“なかなか難しいですね。”

◇香港便り - 9、「恐怖のエレベーター」

香港に来た当初、ビルのエレベーターで何度も挟まれそうになりました。

原因は、こっちは人はエレベーターに乗るやいなや行き先階ではなく、「閉」ボタンを押すから。ちょっとでも乗り込みが遅れたりボタン近くの人から死角にあたる地点から乗ろうとするとたちまち「閉」ボタンを押され、ドアの直撃を受けてしまいます。

また、降りるのも大変です。例えば11階から15階まで降車ランプが点灯している状態で最後に乗った人が16階を押し、出口付近にいるとします。この場合その人は11階から15階まで降りる人がいる事が分かっている筈です。ところがその人は扉が開いても動かざると山のごとし、扉の中央に小錦のように仁王立ちのまま。ですから降りる人はみんなその小錦と格闘する羽目になります。しかし、その小錦は「すみません。降ろしてください」の声がかかると舞の海に豹変、するりと体をかわしてくれるのです。初めは香港には意地の悪い人がいるなど思っていたのですがほとんどの人が小錦状態。これには参りました。

この傾向は地下鉄でも同じです。ラッシュ時など「すみません」が言えないと降り損ねる危険大です。なにしろ降りる人などかまわず、どんどん乗り込んできますから。ただ、降りる人が多い駅の場合、さすがの小錦も人の流れに逆らえず、仁王立ちというわけにいかず、押し出されそうになります。しかし、その時点から驚異的な粘りを見せ、私は絶対降りないぞと宣言しているみたいにして抵抗するのです。端から見てもほんとうに見苦しい光景です。

降りる人がいるのはわかっているのだから、自分が外に出て譲ってあげればいいのに、どうしてそうしないのと香港人に聞いたことがあります。しかし彼らは一応ににやっと笑ってごまかすだけ。

こういった習慣には染まりたくないものです。

◇香港便り - 10、「住まいの不思議」

香港で初めてアパート探しをしたとき驚いたのは、入居中の部屋なのに靴箱や食器棚がないことです。西洋人のように寝室まで土足で入る習慣と思えば靴箱の件は納得できますが、食器棚の方は未だに良く分かりません。ただ、いくら広い、アパートでも台所の面積が狭い。ガス代とシンクそれに冷蔵庫でも置いたらいっぱいスペースしかないのです。たぶん香港の人たちは、我々が思っているほど家庭では料理を作らないようで、だから食器棚なんていらないのでしょう。

駐在の人たちが住むアパートは家具家電付きが一般的です。洗濯機、冷蔵庫、クーラー、テレビくら

いが標準装備されていて、除湿器、ビデオ、衣類乾燥機、電子レンジあたりはオーナーとの交渉次第というケースが多いようです。

広さは2ベッドルームか3ベッドルームです。2ベッドルームはリビングに寝室、もう一つ部屋がありバス・トイレが付きます。3ベッドだともう一つ部屋が増えます。面白いのは3ベッドになるとバストイレのユニットが2つというアパートが多いことです。日本人にとっては、その空間は収納にして欲しいところです。収納スペースは作り付けのクローゼットが一つだけなので、とても不便です。

また、バスタブがないタイプも多く、シャワーだけで済ませる人が多いようです。あと、ガスメーターが部屋の中にあるので検針の煩わしさがあります。

香港のアパートはだいたい20～30階建ての高層建築で、家賃は上層階の方が高く、また、南向きよりも海向きの方が高くなります。

内装も変わっています。食卓がガラステーブル、パイプ椅子、照明がカラオケバーにあるようなスポットライト、壁面が鏡張りという組み合わせが少なくありません。確かに見た目はいいのですが、実用性から見ると不向きな物件が多いです。その上、リビングには結構お金をかけるわりに台所やトイレには無頓着。折角リフォームしてもトイレの鉄管が黒く錆付いている場合が多い。ようするに実用よりも見栄、が優先するみたいです。

また、調度品などを見ても中国的というか香港らしさというのがまず、ない。いまだに畳の上に寝て、こたつに入ってテレビを見る日本人とは伝統、文化の違いを感じます。

◇香港便り - 11、 「電話でひと苦労」

3年前、日本への通話料金は1分間約60円でしたが、現在は通信会社の競争激化のお陰で約14円。大分安くなりました。

しかし、この電話繋げるまでが大変でした。電話回線の申込はアパートを斡旋してくれた不動産業者に頼んだのですが、約束の日になっても来ない。問い合わせてもらったところ、なんと「あなたのアパートに受話器がついているか確認出来なかったので行かなかった。今日の申込はキャンセルだからもう一度申し込め」と、見え透いた言い訳。こっちは約束を破られたので強行に抗議すると、「今から新しい番号を申請する。工事は明日やる。」なんとか新しい番号が決まって、確認連絡をすると「明日は日曜で香港テレコムが休みだから出来ない。」一体何時になるんだ。

2日待たされた揚げ句の答えが「工事は3日後にやる。番号は元の番号にした。」何度も国際電話をかけて実家に新番号を連絡したあとでした。もう、この時点でやりきれない状況でした。

そしてやっと、工事に来て電話が繋がり、会社に戻りました。ほっと一息です。さて、日本にでも報告するかとダイヤルするも一向に繋がりません。工事の人が国際電話の接続を忘れていたとの事です。

香港に来て1ヶ月。香港人は嘘をつく、謝らない、見え見えの言い訳をする。約束の時間を守らないという悪いイメージになってしまいました。更に残念なことに、このことは電話工事に限らず他の人々についても同じであることに気づくのたいては時間は掛かりませんでした。

“良くも悪くも第一印象というのは大きいです。”

しかし、それからというものちよつとやそつとのことで腹を立てるようなことはなくなりました。何があっても、ここは香港と思えば我慢ができます。

でも、2ヶ月後のある日突然国際電話が繋がらなくなりました。これでイメージの回復は絶望的になったのです。

次号に続く。

ゴールドコーストからの便り
(ペナンの木村夫妻にオーストラリア在住の友人からの便り)

2000.12

オーストラリア在住 会友 今井 渡

木村様 その節は大変お世話になりました。

こちらは、本格的な夏のシーズンに入り気持ち良い天気が続いています。

今、日本では再びゴールドコーストのブームになっているとの事で、ゴールド・コーストに住む為の参考になればと思い書いてみました。

木村様にお勧め頂いた南国暮しの会の御主旨に合わなければ破棄して下さい。

世界三大リゾートのひとつゴールド・コーストは気候温暖、風光明媚、自然と調和した美しい近代都市、その上世界で最も災害の少ない所と云われています。

南太平洋に面した美しい砂浜が40kmも続き、ヤシ、ジャカラダ、ポインシアーナなど南洋の木々に囲まれた、ウオータフロントの瀟洒な家々、プール、自家用ボート棧橋、中にはテニスコート付の家もある。日本人だけでなくオーストラリアの人達にも憧れの地、ゴルフ場、テーマ・パーク、海山の自然、市内には多くのショッピングセンター、総合病院、多数の診療所、日本人通訳の常駐している診療所もあります。

近隣の人達も親切で、相談すれば気持ち良く手助けしてくれるフレンドリーな国民性、楽しい生活が出来る。

ウオータフロントに住めば、庭で鱈（キス）、鯛（コチ）、黒鯛、サヨリなど、磯に行けば大型の魚、釣り好きには嬉しい限り。

ゴルフ場の数も多く、近くのゴルフ場で朝食前に9ホール、夕食前に9ホール、日本では考えられない生活が出来る。リタイア後の暮らしには最適な所です。

“でも体の動くうちに実行しなければ楽しみは半減する。”

滞在が長期または短期間であれ、オーストラリアで暮すにはビザが必要となる事は、皆さん御存知の通り、ビザにもいろいろカテゴリーがあり、観光、リタイア、学生、呼び寄せ、結婚、同棲、ビジネス移住等あります。

リタイアビザを取得すれば中古の家が買える。

現在ウオータフロントの良い場所は空き地が殆ど無く、開発場所もレイク（湖）で、ボートで海へ出られない。その点リタイアビザを取れば売りに出ている良い物件を買う事が出来る。（通常外国人は、中古の家は一部政府指定の物件を除いて買う事が出来ない。）

リタイアビザを取らず観光ビザで、日本とゴールドコーストに半年位づつ住んでいる人もおります。3ヶ月の観光ビザで入国し、期限が来たらあと3ヶ月延長手続きをする人もおります。（あと3ヶ月は延長手続きをする条件さえ整っていれば許可される。）アパートや家を借りる場合はこれで十分です。

上記、観光ビザでゴールドコーストに住む事も出来ますが、延長しても期限がきたら一旦出国しなければならない。

一軒家を持ちたい人は、先ず土地を買い1年以内に家を建てる。土地を買う場合はFIRB（外資審議会）の許可を受けるか、FIRBの許可を取った物件を買うか、又リゾート指定のある建物を買える。

1年中住みたいと思っている人は、リタイアビザを取った方が落ち着いて住める。リタイアビザの期限は最初4年だが、その後の延長は可能で、延長条件が揃っていれば永住と変わらない。

リタイアビザを取るにはオーストラリア移民省に申請書を提出するのだが、日本またはオーストラリアで移民省公認の資格を持ったエージェントに依頼するのが手取り早いと思います。

許可の条件は、夫婦どちらか55才以上で資金65万オーストラリアドル、日本円で（2000年1

2月現在)約4千万円ぐらい必要。その他、健康に問題なく、過去に重大な犯罪が無い事、又は20万オーストラリアドルの資金と年収4.5万オーストラリアドルがある人となっています。(今は円が強くチャンスであると考えます。)

手続きをエージェントに依頼する場合、もぐりの業者を避けた方が無難。ビザの申請、不動産購入弁護士選び等、普段やりつけない作業で大変労力があるが、成功する為には良いエージェント、弁護士、不動産会社を選定する必要があり、家を建てる時は良い設計士を選ばねばなりません。

ゴールドコーストの治安は、比較的良いと云われますが、ひったくりや空き巣などの被害もあり十分な注意が必要です。

物価は、日本に比べ食品や諸物価が安く、安い生活費で暮せます。レストランも世界各国の料理が安い料金で楽しめます。

交通は、車は右ハンドルで日本と同じ、広い道のわりに車が少ないので慣れれば日本より運転しやすく、道なども分かり易い。

幹線にはバスが頻繁に通っています。が、住宅地に入るバスは少なく車は必需品です。タクシーは電話で呼ぶか、タクシースタンドでなければならぬ。流しのタクシーはありません。

以上 ゴールドコーストについて大雑把に書きました。住んでみたいと思っても見知らぬ土地で、エージェントや弁護士、通訳、不動産会社等の選定をどの様にすれば良いか方法を知らない為に諦める、その様な人の参考になれば幸いです。

もっと具体的に知りたい方は連絡を頂ければ御説明させていただきます。

◇今井 渡 オーストラリア・ゴールドコーストの住所

76 Mallowa Drive PALMBEACH QLD4221 Australia
tel: +61・75・520・4009 fax: +61・75・520・3401

では又。



コスタリカ共和国の案内

平成12年12月

東京都在住 会員No.163 宮崎 哲郎

南米に詳しい知人に「南の会」の事を話したところ、アジアの南国も良いけどと薦められたのが中米のコスタリカでした。早速調べてみたところ中米の楽園とも花園とも呼ばれ、1年中常夏の地域が広がるすばらしい所なので皆さんにご紹介したいとおもいます。

- 1、北米大陸と南米大陸を結ぶベルトの様な中米大陸に位置し太平洋とカリブ海に挟まれた国でパナマに隣接しています。人口350万、四国と九州を合わせた程の面積です。
- 2、中米唯一の白人国で、世界唯一の非武装永世中立国です。軍隊を持たず、平和主義を憲法でうたい国家予算の1/3を教育に充てるという社民党の土井さんが泣いて喜ぶ様な国です。
- 3、国の収入は国土の1/3を占める国立公園(保護区)を訪れる観光客やコーヒー、バナナなどの農産物が主な物です。コスタリカの魅力は何と言ってもその豊かな自然です。動植物の個体数、種類は例えば鳥について国内で確認された約850種と言う数字は全世界の10%の鳥類がコスタリカに生

息していることになります。

此の生態系を守る為に厳しい環境保護に何よりも力を入れ、工業先進国になることを自ら放棄したユニークな国であり、これが本当の意味での先進国かもしれません。この規模の国では大変賢明な選択だと感じます。大統領がノーベル平和賞を受けたのも宜なるかなと思います。

4、コスタリカの自然。気候は熱帯に属しているが、地形が変化に富んでいる為地域により異なる、例えば首都サンホセは標高1,150mの高地なので年平均気温は22.5℃という常春の快適な気候。その他の所でも日中は暑くても夜は冷える。従って訪れる際は長袖の上着が1枚は必要とされる。雨期は5月～11月、乾期は12月～4月。

国土の中央部に現在活動中の火山帯があり、変化に富んだ地形が素晴らしい自然を育んでいる。

もともとコスタリカとはスペイン語で「豊かな海岸」を意味しており海を中心とした自然が有る所。

5、ビザ関係。日本人は90日以内の滞在であればビザ不要。ここで特筆すべきはペンションードという「移住者用居住査証発給システム」がある。

(1) 年金生活者用査証（日本で600ドル/月相当の年金受領者）2年毎更新。2年後永住ビザ可。

(2) 金利生活者用査証（毎月1,000ドルの金利収入のある人。要銀行証明。）今コスタリカの銀行利子は7%なので約日本円で1,800万円の預金をする必要がある。

退職者ならば(1)が最もリスクもなく現実的と思われます。なお此の国に滞在中の又は居住中の米国人は女性問題等で評判が悪いのに比べ、日本人は行儀良く生活するため評判が良く優遇されているようです。

6、生活情報。物価はコーヒー\$0.5（アメリカドル）、ビール\$1.0、タクシー初乗り\$0.6以降1km毎に\$0.3。食べ物日本の半額、ただし一流レストランでは日本並。家の価格は首都の中心部で1,000万円位で土地の所有権有り。短期での賃貸制度が盛んなので短期のステイに便利でUS\$600～800/月位。車はファミリークラスで150万円位で日本車が多い。メイドは\$100～150。飲み水は水道水は飲めるがミネラルウォーターが無難。言葉はスペイン語であるが、ホテル等では英語可。

7、治安は、中米で最も安全と言われているが、人混みの中ではスリに注意するとか危ないと言われる様な所を避けるなどの海外で一般的に注意する行動を守れば問題はないとの事。

8、日本人は首都のサンホセに450人程居住。日本人会、日本人学校、日本のヤオハンが有る。今のところ日本企業が有る関係で駐在員が多いが退職者居住者も徐々に増えてきた様子。なお東京にコスタリカ日本人会東京事務所があるので生活に関する情報は得られる。

さてこの国に居住した場合何をするかと言うのは各人の好み、目的が違うので何とも言えないが、色々有ると思われる。 例えば

- (1)バードウォッチング (2)豊かな自然を観察、 (3)温泉 (4)天体観測
(6)フィッシング（開高健のオーパ、オーパで有名） (7)スペイン語学習安価で良い学校有り
(8)熱帯雨林ジャングルツアー。等々かなり楽しめるが、実際にそこに住めばまだまだあると思うがそれはその人次第。

以上今まで調査した事を概略まとめてみましたが、如何でしょうか。

現在関係者及びコスタリカ共和国政府観光局のご協力を得て、今年コスタリカツアーを計画しようとお話合っております。航空運賃、ホテル宿泊費の割引、政府高官と懇談、観光局による現地案内等が期待されます。実現の折にはなかなか経験の出来ないツアーになると思いますので皆様の参加をお待ち致します。

尚1月27日に行われる情報交換会において、コスタリカ共和国政府観光局日本代表の五十嵐様により同国の紹介が行われる事になっておりますので、是非お聞きになって頂きたいと思っております。

以上

南の会の皆様

お元気ですか？ 私たちも何事も無く暮らしています。1月の会報の原稿をおくりします。私なりに思ったこと感じた事を書きました。もし変だなと思われる個所があれば修正して頂いて結構です。

私は当年とつて56歳、妻は58歳です。ある日私たちのいつもの課題である、この先わずかな国民年金で如何にして生きて行けるか、行こうか等話し合っていました。

そういう時、新聞で「南国暮らしの会」の記事が掲載されているのを見て、これも生きて行くための一つの手段として知っていたほうが良いのではと思い即入会しました。その後送られてきた資料を読んでフィリピンについて、とても興味を持ちました。この事が切っ掛けで神戸の住居はその俵にして、あの阪神大震災の影響をもろに受けて下降気味であった経営暦20年の寿司店を閉鎖して、去年3月2日からフィリピンに移住する事に決めました。

それに当って、誠に恐縮な事に私たちのために南国暮らしの会大阪支部会員の皆様が歓送会をして下さり励まされての出発でした。今もって何のお礼のご挨拶も済ませてないことが大変心苦しく反省ばかりです。今思えばあつと言う間の決断でこの国の何の知識もなく英語も出来ない私です。この様に急速に物事が進んだのは、ある方の紹介でマニラ在住の塩見さんご夫妻との出会いです。奥さんのルーシーさんにはPRAの取得、アパート賃貸契約、銀行口座の開設、日常生活に必要なものの段取り、それと私はただ暮らすのではなく仕事をしたいと塩見さんに相談したところ、これもルーシーさんの大変な力添えで商業上の手続き等して頂き、現在仕事をしています。

そういう訳で100%といっても過言でない程お世話になりました。そうして今があるのです。

さてフィリピンで生活し初め早くも10ヶ月になります。この間、私の感じた事は日本の常識で物事を計ったり、自分の考え方をこの国の人々に押し付けたり、求めたりは出来る事ならしない方が気楽に過ごせます。とても陽気な国民性で戸惑う事も多々有りますが、する事すべて悪気が無く考え方によってはとても楽です。それと私はこの国のシステム、法律、慣習等何も分かりません。

幸いにも塩見邸と私のアパートが近くで、奥さんのルーシーさんに解からない事、困ったこと全てそれこそ毎日のように相談し、アドバイスを受けてたり助けて頂きながら暮らしています。フィリピンに滞在している悪い日本人にたまたま遭遇して、騙されたりして大変な思いをされている日本人は決して少なくは有りません。ルーシーさんのように何の時にでも、援護して下さる方が傍におられる事で、安心してこの国で暮らして行ける。と、これが私の実感です。

生意気な様ですが、もし来比され何か聞きたい事が有りましたらお電話ください。私の知る限り質疑応答させて頂きます。

電話番号：+63-2-825-0702 (家)

+63-2-820-1149 (店)

皆様のご健康を祈っております。

南の会・伝言・掲示板

1、調査旅行予定者

平成13年1月6日現在

No.	名前	電話番号	期間	旅行・滞在先・目的 (予定)	呼び掛け内容
198	川上 雅久	0489-52-6321	H13.1. 中旬	・フィリピン (セブ、ダバオ) 調査、観光、	・現在4名程で一緒に行く予定。
78	加藤 陸男	0492-59-0313	今 春	・フィリピン・マニラ⇄ダバオ間 ・バス旅行計画中。	・所要時間、ルート、フェリ乗場、料金等知りたい。
108	八束 正	048-822-7363	年2回程	・セブに別荘あり、年2回行き来。 ・近日中に1ヶ月位ダイビングに	・会員の希望者歓迎。
15	片山 和義	0436-41-4554	H12.11. ～滞在	・ボホール島で日本語学校創設 ・日本語講師2名募集 (募り中)	・連絡先本会報寄稿文に掲載。
18	まゆみ 木村 義光	0552-74-0266	H12.12～ H13.1月	・マレーシア・ベナン島に居住外国生活の実践。ホームページも見て下さい。 *希望者連絡して下さい。	

2、自宅を宿泊施設として提供

61	ルシー 塩見 祥昭	001-63-2- 545-7937	・マニラ市内居住 ・会員ステイ用の部屋あり。	・1泊2食¥4,000- ・空港送迎 (有料) Eメール: shiomi@compass.com.ph (メール送付可)
204	渡辺 克美	0743-79-2223	・マニラ近郊に居住 ・会員ステイ用の部屋あり。	・1泊2食¥6,000- ・空港送迎OK Eメール: KATSUMIW@aol.com

3、フィリピン・ホテル情報

☆マニラ地区の会員向け特別料金設定 (会員No.198 川上氏調査)

- ・ The Pan Pacific Hotel Manila 75ドル (朝食付) 5 ッ星
(パン・パシフィック・ホテル・マニラ)
- ・ 連絡先tel:001-632-536-0788 fax: 001-632-536-0611/526-6503
- ・ Eメール: ppmsales@panpac.com.ph
- ・ 担当: Mico C. Galo 【ミコ】 (Sales Executive)

☆ミンドロ島 ・ホテル 800ペソ (食なし) ビジネスホテル中級

☆セブ市 ・マリオットホテル 2,500ペソ程度

☆ダバオ市 ・マリオットホテル 宿泊料 ???

- ・ 従来会員に廉価料金にて提供されていたウオーターフロントホテルは、この1月から改装の為当分閉鎖されるとの事です。

◇上記のいずれでも、連絡出来ない方は会員No.198 の川上氏に相談して下さい。

◇ロングステイ体験ホームについて

平成13年1月14日 (関西)、平成13年1月27日 (東京) の情報交換会において概要説明と質問に応じます。当日講師として川上雅久が演題に立ちます。よろしくお願い致します。

◇茨城県在住の大貫氏 (会員No.112) よりの便り

前略 会報の他常々お世話になっております。この度ローズプリンセスホームの戸建を契約しました。冬の間はフィリピンに渡り、夏は日本で農業をするつもりです。従来伝言板でバギオに行きたいと、掲載してもらっていましたが、上記のようにマニラ郊外に決めましたので、伝言板の掲載を取り消して下さい。

今後ともよろしくお願い致します。

草々

*大貫様元気で両国の生活をエンジョイして下さい。ご健康とご多幸を祈念しております。 (酒匂)

各部会伝達板

§、事務局から

担当理事 ・高澤 弘晃

1、平成13年度会員継続申込について

一年とは早いもので、もう年度替わりの継続会員募集時期になりました。今回から申込みは会費を別添の郵便振替用紙にて振り込んで頂いた方を継続会員として登録致します。よろしくお願い致します。

なお当会の年度替わりは4月1日からです。

- ・会費納入期日：平成13年2月末日 ・平成13年度会費：¥3,000-
- ・郵便振替口座番号：00170-7-24682（念の為） ・口座名称：南の会

2、メーリングリスト

Eメール交換可能な方は「南国暮らしの会」の井戸端会議はいかがでしょうか。事務局にて作成しました、事務局指定のアドレスにメールを頂きますと、登録されている方全員に同じ内容を配信いたします。全国の会員で井戸端会議如何ですか？ 自由にお使い頂けます。ロングステイ、移住の情報交換等々。

登録希望の方は別紙に記入後FAX、或いはEメールにて連絡ください。

(注) 会員の個人中傷的な交換メールは絶対禁止します。

返 信：登録希望の方は、1月23日までに下記の高沢まで送付願います。

FAX / 電話：042-373-6530 ・メールアドレス：fwjc5962@mb.lnfoweb.ne.jp

3、第5回情報交換会 (別紙の通り)

4、第2回パソコン教室開催

第1回パソコン教室が好評でしたので別紙の通り、第2回パソコン教室を開催致します。

仲間同士のざっくばらんな雰囲気を楽しみながらの勉強会は、他では体験出来ません。

§、調査担当より

担当理事 三井田 雅俊

1、外国で不動産を取得する場合の特集版発行 (保存版)

- (1) フィリピンでの不動産取得について (2001年・会報・新年号に掲載)
- (2) フィリピンにおける不動産取引について (別添参照)
- (3) 外国で不動産を取得する場合 (別添参照)

この度標記の特集版を発行する事が出来ました。

会員の皆様がこれから外国生活を営まれるあたり本書を熟読され、外国で不動産などを取得する場合自分で納得して対処する為の手引書になれば幸いです。今後も参考になる資料は補填していきます。

本資料作成にあたり、日本の元某検事や某弁護士などにお知恵を拝借し、また南の会マニラ支部長の塩見様(フィリピンの顧問弁護士の協力)及び原理事(日本の不動産関係専門知識を参考にフィリピンの知友人の協力を得)の協力を得て、本特集版を作成しました。

2、タイランド、ロングステイ調査体験ツアーの企画 (日程は本会報に掲載)

◇時 期：平成13年6月24日～7月1日(8日間の予定)

◇費 用：12万円～13万円(但し夕食付は2晩です。)

◇本旅行のポイント

- (1) ロングステイ用サービスホテルを訪ねる。
- (2) 介護施設を訪ねる。
- (3) タイ国居住の日本人方々との懇談及びお住まいを訪ねる。
- (4) タイ国文化遺跡などを訪ねる。

§、広報担当より

担当理事 宮崎 哲郎

1、フィリピン、ロングステイ調査体験ツアーの企画

◇時期：平成13年3月中旬（8日間の予定）

◇費用：約18万円（但し自由行動の日以外は3食付き。）

◇旅行のポイント

- (1) 代表的な3都市を訪問し初めてのピジターにもフィリピンを経験、理解してもらう。
- (2) 観光は勿論、今回はロングステイ地調査見学にも配慮し色々な体験を企画。（ビレッジの見学等）

◇各地での予定

- (1) スービック：米海軍跡地に開発された複合リゾートで淡路島程の面積。
ショッピングモール、ゴルフ場、戸建住宅等の見学及び日本人居住者との懇談。
- (2) セブ：代表的なマリンリゾートでホワイトビーチとダイビングが有名。
高級住宅地パラダイスビレッジの見学。鈴木セブ支部長との懇談（ロングステイの体験談、心得、生活情報等）
- (3) ダバオ：フィリピン第2の都市。全てにゆったりとした心落ち着く町。
現在会員有志で計画中のロングステイモデルハウス（インシュラービレッジ）の見学とサマル島の観光。日本人会の方々との懇談。

2、広報委員会

◇出席者：高沢氏、吉岡氏、酒匂氏（特別参加）、宮崎 以上4名

(1) 南の会のホームページの今後について（高沢氏、吉岡氏が個人の機器を使い入力等奉仕活動）

- ①吉岡氏のホームページは会報関係の抜粋を掲載する。②投稿者の氏名は今後イニシャルで記載する。
- ③ホームページに掲載する会報は2号程度とする。④高沢氏のホームページは会報以外の情報を掲載する。⑤会員外からの問い合わせには、無理難題を問い掛ける人がいる。その様な方には無視する。
- ⑥ホームページを見て、入会問う合わせがあった場合は、資料送料または会費納入後に資料を送付する旨お互い徹底させる。

(2) Eメールについて

- ①高沢氏がメーリングリストを作成中、会員が登録すると、そのメンバーの一人に送った文が全員に回送される。詳細は高沢氏へ。

(3) 南の会『入会案内』再編集について

現在参考資料を収集している。1～2ヶ月中に纏め役員会にはかる。

§、会員担当より

担当理事 酒匂 景輝

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は色々お世話になりました。今年も宜しくお願い致します。

☆平成12年度会員数；286名（平成12年12月31日現在）

※Eメールを利用しはじめ感じている事と、皆様へのお願い

人生70～80年という時代に、何でこんなにスピードが必要なのか、私は以前の手紙でのやり取りの『間』が欲しいです。という訳で私は今後EメールやFAXで回答や意見を問われた場合は、10日以上の日数を掛けて応答するつもりです。すぐに返事や、結論の欲しい方は申し訳ありませんが電話にてお願い致します。皆様もご協力をお願い致します。

何だかこの年になってセカセカした忙しい生活は、私にはストレスになります。ノンビリとゆとりを持って生活したいです。私の我儘をお許し下さい。

§、会報担当より

担当理事 酒匂 景輝

1、会員の『声』欄開設について

次回から会員の『声』欄を開設します。奮って投稿して下さい。但し会員やその他の個人中傷的な記事の掲載は致しません。前向きな記事に限らせて頂きます。

2、会報寄稿文について

(1) 会報は年4回発行ですので、常に投稿して下さい。

発行日の目安は1月中旬、4月中旬、7月中旬、10月中旬で発行日の45日程度前に寄せられたものは掲載出来ると思います。

(2) 投稿文の字数は1回2千字から4千字程度にして下さい。

(3) 写真についてはネガ（説明付きであれば尚結構です。）をソックリ貸して下さい。掲載は編集者に任せて下さい。プリントしましたらネガはすぐ返送します。

(4) 原稿の1部カット、挿入、校正は編集委員に一任して下さい。もし原文通りの掲載希望者はその旨太字で朱記して下さい。

3、会報編集委員

委員メンバーは高澤弘晃氏、宮崎哲郎氏、川上雅久氏、吉岡秀一氏、城野伸夫氏、一戸圭子氏、竹中隆成氏、鈴木剛氏です。今後とも会報編集、発送業務など宜しくお願い致します。

4、会報21世紀新年号発行について

会報21世紀新年号を皆様の手元へお届け出来ます。これも会員皆様のご協力のお陰です。

今回からオーストラリア在住の今井様に（ベナンの木村様の紹介）会友になって頂き、本会報に寄稿してもらいました。他にコスタリカ共和国、マレーシアのコタ・キナバルという新顔が登場しました。ますますバラエティーに富んだ、読み応えのある会報に編集出来嬉しく思います。

表紙の絵について、当初南国ムードの絵にしようかと思っておりましたが、新世紀の新年号でもあるし、私の独断で富士のお山にしました。会員で外国に住んでいらっしゃるお方には、日本の匂いも恋しいのではないか……（今後は新年号には日本の匂いをと、思っていますが如何でしょう。）

今後も会報の充実を計る所存です。皆様のご協力をお願い致します。

会報に寄稿して下さいました皆様方誠に有り難う御座いました。厚く御礼申し上げます。

尚今回は『外国で不動産を取得する場合』の特集版（保存版）を本会報と同封して届けられ、会員の皆様方が熟読され、転ばぬ先の杖として幸せな外国暮らしをされる事を期待しています。

会報編集、発送に協力して頂いたメンバーは、高澤弘晃氏、宮崎哲郎氏、吉岡秀一氏、川上雅久氏、城野伸夫氏、竹中隆成氏、鈴木剛氏、酒匂ファミリー（愛子、野口けい子）の協力を得ました。

ご協力の皆様有り難う御座いました。

寒さ厳しい折、健康に充分配慮されます事と、皆様のご多幸を祈念しております。

自己責任

発行者 特定非営利
活動法人 「南国暮らしの会」 理事長 池田 徳三郎
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-15-2-809 TEL/FAX 03-3947-8977



新しい世界へ…。その一歩をサポートする、 地球生活倶楽部です。

地球生活倶楽部は、海外長期滞在中の医療サービスや24時間ライフラインなど、今までにない安心サポートであなたのロングステイをサポートします。

海外旅行傷害保険だけで、大丈夫ですか？

● 総合キャッシュレス医療サービス

海外滞在中、慢性疾患や歯科治療など海外旅行傷害保険でカバーされない病気も、当倶楽部の提携病院でその場での支払いの心配なく、医療サービスが受けられます。

● インターカルテ

海外滞在中の万一に備えて携行したい英文カルテの作成と、人間ドック受診が会員割引となります。

● ヘルプセンター

海外滞在中の各種トラブルに対し、ヘルプセンターが年中無休、24時間、日本語で対応します。

国内でも楽しみが広がります。

● 各種イベント

当倶楽部が主催するイベントへのご招待(無料)や特別優待があります。

● ニュースレター送付

会報「G.L.C NEWS」を毎月送付します。

● 同好会活動支援

会員間の同好会を応援します。

地球生活倶楽部
設立2周年記念講演会
齋藤茂太&八代亜紀が語る
「ライフスタイル自分流」
開催日: 2001年3月23日(金)
会場: 銀座ガスホール
会員無料ご招待!

地球生活倶楽部 会員募集中

株式会社 地球生活倶楽部

東京都知事登録 旅行業第3-4656号

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-18-1 第10森ビル9階 URL <http://www.chikyuu.co.jp>

会員デスク

TEL 03-3519-5125 FAX 03-3519-5123

